

第七十三回帝國議會
衆議院

國家總動員法案委員會會議錄(速記)第六回

付託議案
國家總動員法案(政府提出)

會議

昭和十三年三月四日(金曜日)午前十時三十分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 小川郷太郎君

理事中村不二男君 理事豊田 豊吉君

理事中山 福藏君 理事西岡竹次郎君

理事宮脇 長吉君 理事篠原 義政君

理事西尾 末廣君

作田高太郎君 齋藤 隆夫君

櫻井兵五郎君 古屋 慶隆君

増田 義一君 山本 厚三君

林 平馬君 眞鍋 儀十君

眞鍋 勝君 池田 秀雄君

小山 谷藏君 川崎末五郎君

長井 源君 河野 一郎君

小高長三郎君 泉 國三郎君

羽田武嗣郎君 濱田 國松君

板野 友造君 河上 哲太君

熊谷 直太君 植原悦二郎君

猪野毛利榮君 牧野 良三君

若宮 貞夫君 岩元榮次郎君

坂田 道男君 藤本 捨助君

山崎 常吉君 清瀬 一郎君

守屋 榮夫君 三輪 壽壯君
淺沼稻次郎君 今井 新造君
三田村武夫君

出席國務大臣左ノ如シ

內閣總理大臣 公爵近衛 文麿君

外務大臣 廣田 弘毅君

海軍大臣 米内 光政君

司法大臣 鹽野 季彥君

陸軍大臣 杉山 元君

鐵道大臣 中島知久平君

出席政府委員左ノ如シ

內閣書記官長 風見 章君

企畫院總裁 瀧 正雄君

企畫院次長 青木 一男君

企畫院部長 植村甲午郎君

企畫院部長 横山 勇君

企畫院書記官 内田源兵衛君

對滿事務局次長 原 邦道君

陸軍政務次官 加藤久米四郎君

陸軍參與官 比佐 昌平君

陸軍中將 山脇 正隆君

陸軍少將 町尻 量基君

司法省刑事局長 松阪 廣政君

司法省行刑局長 瀧川 秀雄君
司法省調查部長 井上 登君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

國家總動員法案(政府提出)

○小川委員長 是ヨリ開會致シマス、杉山

陸軍大臣ヨリ發言ヲ求メラレテ居リマス、

之ヲ許シマス

○杉山國務大臣 昨日日本委員會ニ於キマシ

テ、部下ノ言葉遣ヒニ於テ穩當ヲ缺ク點ガ

アリマシタサウデアリマスガ、此點ハ洵ニ

遺憾ニ存ジテ居リマス、尙ホ今後ニ於テ注

意ヲ致シマス

○小川委員長 是ヨリ板野友造君ニ質問ノ

繼續ヲ許シマス

〔委員長議事進行〕議事進行ヲ許スノ

カ「ト呼ヒ其他發言スル者アリ」

○小川委員長 板野君ニ質問ヲ許シマシ

タ——板野君ニ發言ヲ許シタデスカラ……

○板野委員 極ク簡單デアリマス、私今日

ハ今マデト異ツテ特ニ申シテ置キタイコトハ、

ドナタデモ構ヒマセヌガ、御答辯ハ大臣カ

ラ承リタイ、此事ダケヲ申上ゲテ置キマス、

今マデ曾テ斯様ナコトヲ申上ゲタコトハナ

イノデスガ、聊カ思フ所アリ、本日ハ大臣ヨ

リ御答辯ヲ戴キタイト云フコトヲ申上ゲタ

上ニ質問ヲ致シマス、ソコデ私ハ最早ヤ憲

法論トカ、法律論ヲ茲ニ繰返スコトハ致シ

マセヌ、極ク簡單ニ政府ノ御所見ヲ承ッテ

置キタイト思フ、政府ノ今マデノ御言明ナ

リ、吾々ニ配付ヲ戴キマシタ外國ノ總動員

ニ關スル法律ナドヲ見マシテ、外國ノコト

モ一ツノ手本トシ、參考トスベキモノデア

ルト云フ御意思デアラウト思ヒマス、私ハ

斯様ニ考ヘル、我が國民ハ一朝有事ノ際ニ

ハ、何モ外國ノ如ク法律ヲ以テドウスウス

ルヲ要セズ、其忠勇義烈ノ進ル所ハ進ンデ

身命ヲ捧ゲテ奉公ノ誠ヲ盡ス、斯ウ云フ忠

良ナル臣民デアアルコトハ申ス迄モナイノデ、

權利ダ、義務ダト云フノデ法律ノ關係ニ依ッ

テ動クナドト云フヤウナモノデハナイ、デ

アリマスカラ、國家總動員ヲ要スルガ如キ

此非常時ニ際シマシテハ、權利モ自由モ、

財産モ、皆投出シテ、以テマダ奉公ノ至ラ

ザルナキヤヲ惧レルト云フ、洵ニ世界無比

ノ忠良ナル臣民、國民デアアル、ソレデア

カラ外國ノコトナドハ例ニハナリマセヌ、

個人主義ヲ以テ固メラレテ居ル國家ニ於テ

ハ、ソレハ必要ガアリマセウ、個人主義ヲ

以テ固ツテ居ル國民ニ依ッテ出來テ居ル國家ニ於テハ、法律ヲ以テ強制スル必要ガアラウ、日本ハサウデハナイ、此忠良ナル、忠誠ナル國民ヲ以テ充サレテ居ルノデアルカラ、法律ノ力ヲ藉リナクテモ、國民ノ自發ニ依ッテ、總動員ノ目的ハ達セラレルト思フノデアリマス、色々西洋ノ眞似ナドヲシテ、國民ノ此忠誠ノ誇、此矜持ヲ傷クルコトハ却テ宜クナイ、私ハ斯様ニ考ヘマスガ、過日來屢、繰返シマスル如ク、國家總動員ノ必要ナルコトハ吾々モ政府ト同様ニ痛感スル、ドウゾ缺クルコトナキ其準備ガ整フヤウニ、而シテハ一刻モ早ク此準備ヲ整ヘルコトヲ熱望致シマス、併ナガラ此總動員ニ關スルコトハ、法律ヲ以テ作ル必要ハナイ、若シ法文條規ガ要ルノナラバ、憲法ノ第三十一條ノ規定ダケデ宜イデハナイカト思フ、

是ハ法律論デ言フノデハナイ、法律關係ヲ言フノデハナイ、我が國民性ハソナモノヲ必要トセヌ程誇ルベキ國民デアル、尤モソレダケデハイカヌ、ヤハリ法規ガ要ルト仰シヤルナラ、ソレハ憲法第三十一條ガアル、私ハ國民性ノコトヲ考ヘルト、ドウモソレハ法律ヲ以テ綺麗ニ完全ニ規定スル必要ハナイノデアルカラ、何遍モ繰返シマス如ク、實質内容ハ勅令ニ讓ルト云フ、マア

謂ハ、片輪ノヤウナ法律ヲ作ルコトハ寧ロ要ラス事デアル、無論準備ハ必要デスガ、總動員ノ實施ニ關スルコトハ、一切舉ゲテ之ヲ憲法第三十一條ニ讓ル、非常大權ノ發動ニ俟ツ、斯ウスベキモノデハナイカト思フ、是ハ法律論デ言フノデハナイ、憲法論デ言フノデハナイ、我國獨特ノ國民性、我國獨特ノ國家ト云フ點カラ見テ、私共ハサウスベキモノダト衷心思ヒマスカラ、敢テ重ネテ政府ノ御所見ヲ伺ヒタイ

○鹽野國務大臣 本法案ハ決シテ外國ノ法制ノ眞似ヲシテ拵ヘタモノデハゴザイマセ

ス、但シ歐洲大戰以來、近代戰ノ態様ヲ見マスルト、ドウシテモ國家總動員ヲ以テ之ニ向ハナケレバナラスノデアリマシテ、此點ニ付テハ板野君モ萬々御承知ノヤウニ拜承致シマス、固ヨリ御説ノ通り、我が忠誠ナル國民ハ一朝事有ル場合ニ於テハ、其持テル全部ノモノヲ捧ゲテ御國ノ爲ニ盡スコト、是亦私共モ疑ハナイノデアリマス、併ナガラ國家總動員ノ爲ニハ、勞力又ハ物資ノ點ニ於キマシテ、國民ノ持テル全部ノモノヲ捧ガル要モナイノデアアル、其如何ナルモノヲ如何ニ捧グベキヤト云フ點ニ付キマシテ、豫メ用意ヲ持タセテ置クコトガ必要ト感ジテ居ルノデアリマス、此點ニ於キマシテハ、

我國モ亦近代法治國ノ形ヲ採ッテ居リマス、法律ノ上ニ於テ之ヲ確定致シテ置クコトガ、適當ト考ヘテ居ルヤウナ次第デアリマス

○板野委員 私ハ今回ノ支那事變ニ付キマ

シテ、畏多イコトデアリマスガ、茲ニ宣戰ノ大詔ヲ拜スルコトガ出來マシタナラバ、國民ハ一層緊張シ、一層發奮ノ度ヲ加ヘテ躍進スルデアラウ、ドウカ政府ガ宣戰ノ奏請ヲシテ呉レヌカナト思ッタコトモアル、私ニ敏ト雖モ、宣戰ノ結果ガ、各方面ニ色々影響結果ヲ來スコト位ヲ知ラスコトハナイ、不便ノ點モアラウ、色々ノ結果影響ヲ來スコトヲ知ラスデサウ思ッタノデハナイ、左様ナ色々ノ結果アリト雖モ、尙ホ茲ニ宣戰ノ大詔ガ煥發サレルコトガアッタナラバ、國民ノ此躍動發奮ト云フモノガ、一段ノ光彩ヲ放ツ程ニナルガラウト思ッタコトデアアル、偶々、本案ノ審査ヲ爲スニ當リマシテ、私ハ丁度ソレト同様、將來若シ國家總動員ノ必要ヲ見、戰時ニ際會スルコトガアッタナラバ、畏多イ事デハアルガ、非常大權ノ發動ヲ奏請スルコトガ、我が忠勇ナル臣民ニ對シテ、極メテ意味深長ナルモノガアルト云フコトヲ痛感致シタ、政府ガ常ニ繰返サル、如ク、憲法ノ章條ヲ尊重スル所以モ茲ニ

アル、又總動員ノ目的ヲ達成スルノニモ、之ニ依ルコトガ最善ノ方法ダト確信ヲ致シマス、我國ニ於ケル憲法第三十一條ノ如キ規定ヲ有セザル外國ハ如何トモスルコトガ出來ナイ、此第三十一條ノ規定ヲ有シ、而シテ忠勇ナル國民ヲ以テ出來上ッテ居ル我國ニ於テハ、一朝有事ノ際ニハ、此大權ノ發動ヲ奏請スベキモノデアル、大權ノ發動ヲ奏請スル決レバ、本案ノ如キ不具ノ法ヲ採ル必要ハナイ、私ガ斯様ナコトヲ繰返ス所以ノモノハ、現内閣ノ如キモノナラバ法律モ何モ要ラス、一切任シテ置イテ宜シイ、現内閣ハ德望一世ニ高キ近衛公ヲ首班ト致シテ、其他ノ閣僚何レモ是王佐ノ棟材デアアル、此内閣デアアルナラバ何ノ不安モアリマセヌ、安ンジテ白紙ノ委任狀ヲ渡シテ可ナリ、何ノ心配モナイ、併ナガラ此内閣ガ何時マデ續クカ、今迄ノ例カラ見マシテモ内閣ノ壽命ト云フモノハ大抵分ツタモノデス、サウスルト今ノ内閣——是ハ口デ言フダケデナイ、眞ニ德望一世ニ高キ近衛公ヲ首班トスル閣僚諸公ニ依ッテ出來テ居ル此内閣ニ對シテ、私共ハ國民ト共ニ實ニ安心シテ事ヲ託スルニ足ルト考ヘマス、併ナガラ現内閣ハ絕對ニ信賴スルニ足ルトシテモ、今後幾代——此次ノ内閣、其次ノ内閣、

今後歴代ノ内閣皆然リト云フコトヲ誰ガ言
ヒ得ル、又ソシナコトハアリマセス、各國
ノ歴史ヲ見テモ善イ政府モアレバ、惡イ政
府モアル、ソレダカラ此内閣ナラバ白紙委
任狀デアラウガ、一切其内容實質ヲ勅令ノ
規定ニ委ネテ置イタ所ガ、亂暴ハシナイデ
アラウカラ、ソレハ宜シイ、併シ今後ドン
ナ内閣ガ出テ來ルカ分ラス、而シテ洋ノ東
西ヲ通ジ、古今ノ歴史ノ示ス所ニ依リマス
レバ、治亂興亡ノ岐ル、所一ツニ懸テ閣臣
ノ適否ニ存ストモ言ヘルト思フ、宰相其人
ヲ得レバ治績ガ舉ル、要スルニ其治亂興亡
ノ岐ル、所、只今ノ言葉デ申セバ内閣ノ善
シ惡シニ依ッテ決マル、是ハ古今東西ノ歴史
ヲ通ジテ明カデアル、臣民ノ權利、自由、
之ニ至大ノ制限ヲ加ヘ得ル本法デアル、勅
令ヲ以テ制限スルト云フノデアルガ、之ヲ
奪ヒ去ルコトモ出來ル、絶大ナル權利ヲ委
サレル、絶大至大ノ權限ヲ政府ニ一任スル
本案ガ議會ノ協賛ヲ得テ法律トナリ、是ガ
法律トナッタ上デ、他日善クナイ内閣、善
クナイ政府、低級ナ政府、若クハ專横ナ
ル政府、斯ウ云フモノノ手ニ依ッテ本法
ヲ施行スルコトガ出來ル、而シテオ粗末
ナ内閣ノ時ニ戰爭ガ始ッテ、此總動員法ヲ
實施シナケレバナラヌ場合ガ來ルカモ知レ

ナイ、而シテ何時モ今日ノヤウナ信頼
スル内閣バカリハ續カナイ、極ク信頼
ノ出來ナイ粗末ナ内閣、若クハ善クナイ内
閣ノ時ニ戰爭ガ起ッテ、此戰時法ヲ適用シナ
ケレバナラヌ場合ガ起ッテコトヲ想像シテ御
覽ナサイ、安心ガ出來マスカ、本法ハ勅令
ニ依ッテ權利モ、自由モ、財産モ一切ノモノ
ヲ制限モ出來レバ、剝奪モ出來ル、ソレダ
カラ若シ惡イ内閣ガ之ヲ使フヤウナコトガ
アレバ、洵ニ今日カラ豫想スルダニ戰慄ヲ
覺ユルノ感ガアル、サウシテ我國三千年ノ
長イ歴史ニ於テ相當惡イ政治家モ出デ居ル、
憎ムベキ政治ヲヤッタ者モアル、今迄ハアッ
タガ今後ハ左様ナ惡辣ナ者ハ出テ來ストハ
何人モ言ヒ得マイ、恐ラクソシナコトハナ
イデセウ、併シ不幸ニシテ國民ノ意ニ反シ
テ惡イ政治ヲスル政府ガ現出スルカモ知レ
ス、ソレダカラ一切ヲ無條件デ任スト云フ
本法ヲ作ッテ置クコトハ危險千萬デアル、問
題ハ茲ニ在ル、現内閣ノ諸公ハ信頼申上ゲ
ル、併シ諸公ノ一代デ以テ此法律ガ效力ヲ
失フモノデハナイ、善クナイ内閣ガ專横ヲ
スルカモ知レナイ、隨分今迄モアッテ、專横
ナル、惡辣ナル政治ヲヤルヤウナ、失政百
出ノ政府ガ出テ來タ時ニドウナリマス、立
法ノコトニ參與スル者ハ、斯ノ如キ場合ヲ

豫想セズシテ可ナランヤト言ハナケレバナ
ラス、私共ガ御所見ヲ伺ヒタイト云フノハ
此點デアル、此儘ニ贊成シテ置クト、斯
ウ云フ危險ガアル、私共ハ現内閣ハ絕對ニ
信頼スル、ダカラ現内閣デアルナラバ何モ
議論スル必要ハアリマセス、併ナガラ不信
任ナル内閣ガ出來、善クナイ内閣ノ時ニ戰
争デモ始マッタヤウナコトガアッタナラバ、
洵ニ恐ルベキ結果ヲ來ス惧ガアル、斯様ナ
點ニ付テ私ハ眞ニ政府ノ御所見ヲ伺ヒタイ、
勅令ヲ以テ規定スルト云フコトモ、其勅令
ハ如何ナル範圍カ、如何ナル點ニマデ行ク
カ、是モ其時ノ政府ノ都合デスカラ、此處
マデ必要ダト云フコトニナレバ、其必要ニ
應ジテヤレル、何處マデ必要ト見ルカト
云フコトハ、其時ノ政府ノ見ル所ニ依ッテ違
ヒマス、此處デス、隨分今迄ニ於テモ、日本
ダケデモ現ハレタ、惡イ政治ヲシタ政治家
ガアル、政府モアル、ダカラサウ云フモノ
ガ今後出タ時ニ困ル、斯様ニ考ヘル、ソレ
デアリマスカラ更ニ私ハ繰返シマスガ、戰
争ハ是非勝タナケレバナラス、勝タナケレ
バナラスカラ總動員ハ必要ダラウ、ケレド
モ斯シナ危イコトニ吾々盲從スル譯ニ行カ
スト云フノガ、此御伺ヲスル所以デアリマ
ス、願クバ政府ノ御所見ヲ率直ニ承リタイ

ト思ヒマス
○鹽野國務大臣 御意見ニ依レバ現内閣ハ
絕對ニ信任スルガ、將來ドンナ内閣ガ出來
ルカモ分ラス、ソレガ勅令ヲ定メル際ニ甚
ダ心配ナ點デアルト云フ御説デアリマスガ、
何レノ内閣ニ於キマシテモ、我ガ國民ノ中
カラ選バレテ輔弼ノ任ニ當ルノデアリマス、
國家非常ノ場合ニ於キマシテハ現内閣以上
ニ國家ノ爲ニ陛下ノ爲ニ忠誠ヲ盡スデアリ
マセウ、サウ御心配ニナルヤウナコトハナ
カラウト思ヒマス、ノミナラス御説ノヤウ
ニ第三十一條ノ大權ニ御任セスルガ宜シイ
ト云フ御意見ヲ採リマス、若シ其戰時ノ
際ニ現内閣ノ如キモノニ非ザル御粗末ノ内
閣デアッテ、大權ノ發動ヲ奏請シマス場合
ヲ考ヘテ見マシタナラバ、如何デアリマセ
ウカ、私ハ左様ナコトハ申シタクナイノデ
アリマス、ヤハリ本内閣以上ノ内閣ガアル
アルコトヲ信ジテ疑ハナイノデアリマス
○板野委員 私ハドウモ了解ニ苦シミマス
ガ、此程度デ私ノ質問ハ差控ヘマス
○小川委員長 此際植原君ノ留保セラレタ
質問ヲ許シマス
○植原委員 委員長ヲ通ジテ一寸陸軍大臣
ノ御都合ヲ伺ッテ見タイノデスガ、陸軍大臣
ハ大變御急ギノヤウデ、短カケレバト云フ

ノデシタガ、板野サンノ御質問ガアッテ一寸
時間ヲ取りマシタノデ、ソレデモ私ノ質問
ガ短カケレバ、御都合ガ付イテ居ラレルカ
ドウカ、居ラレ、バ陸軍大臣ノ質問カラ先
ニ始メマスガ、其御都合ヲ委員長ヲ通ジテ
伺ッテ戴イテ置キタイノデアリマス

○小川委員長 陸軍大臣ニ御同致シマスガ、
如何デセウカ、只今植原君ノ發言ガアリマ
シタガ……

○杉山國務大臣 宜シウゴザイマス

○植原委員 ソレナラバ陸軍大臣ニ對スル
質問カラ先ニ致シマス、陸軍大臣ハ過日本
會議ノ質問ノ際ニ、牧野君ノ質問ニ對シテ
モ、亦齋藤君ノ質問ニ對シテモ、斯様ナコ
トラ御述べニナッテ居ル、總動員ノ目的ハ單
ニ軍需ヲ充實スルバカリデナク、國民ノ生
活ヲ保護シ、且ツ國家經濟ノ運行ヲ圓滿ナ
ラシメル爲ニ設ケタノデアリマス、即チ國
民ノ生活ヲ保護シ、且ツ長キニ互ル戰爭ニ
對シテ、國家ノ經濟ヲ圓滑ニ運行スルト云
フ考ノ下ニ本法ヲ設ケタノデアリマス、斯
ウ云フ御答辯ニナッテ居リマス、私共此法
文ヲ逐條ニ見マシテモ、此法律ニ依リマシ
テ、斯克／＼ニシテ國民ノ生活ガ保護シ得
ラル、モノデアルト云フ規定ノ存在ヲ見出
スコトハ出來マセヌ、若シ是ガ何レカノ規

定ニ在ルナラバ、ソレヲ明示シテ戴キタイ
ノデアリマスガ、陸軍大臣ノ本案提出ノ理
由トシテ御説明ニナッテ居ル所ノモノニ依
リマシテ私共考ヘル時ニ、此法律デ國民ノ
生活ヲ保護スルト云フコトハ一體ドウ云フ
コトカ、私ハ左様ナコトラ申シタクナイケ
レドモ、意地悪ク言ヘバ、軍部ガ國民ノ生
活全體ヲ支配シヨウト云フノカ、何故斯ウ
云フ質問ヲ私ガ致サナケレバナラナイカト
申シマスルト、昨日瀧政府委員ノ御答辯ノ
中ニモ同ジ思想ガ流レテ居リマス、歐羅巴
戰爭ノ時ニ獨逸ヤ、伊太利ヤ、露國ガ戰後
ニ於テ國民生活ガ非常ニ不安ニナッテ革命
マデ惹起シタ、日本ニ於テモ戰爭ガ始マレ
バ非常ナ動搖ヲ招キ、サウ云フ虞ガアルカ
ラシテ、サウ云フ事ヲナカラシムル爲ニ本
案ヲ提出シタト、斯ウ云フ御意見デアリマ
ス、サウスルト本案提出ノ目的ハ、國民ノ
生活ノ保護マデ全部致スノカ、此法律ハ私
ハ全能力ヲ擧ゲテ對外關係ノ場合ニ、有事
ノ際ニ國民ノ全力ヲ、ソコニ傾注セシムル
所ガ目的デアッテ、國民ヲ保護スルコトガ、
或ハ國民ノ生活ヲ保護スルト云フコトガ中
心デナイヤウニモ考ヘラレルガ、此點ニ於
テ少カラズ疑問ガアル、何故サウ云フ疑ガ
アルカト云フト、瀧政府委員ノ思想ニ流レテ

居ルモノト、國民生活ヲ保護スル爲ニ此法
案ヲ出ス、國民全體ノ經濟ヲ圓滑ニ運用ス
ル爲ニ此法案ヲ出スト云フ御趣意ト、是ハ
強ヒテハ申シマセヌケレドモ、昨日説明員
ガ立チマシテ言ウタ中ニ、火藥庫ニ對スル
例證ノ如キハ兒戲ニ等シキモノダト、私共
ハ思フガ、其中ニ見遁スコトノ出來ナイ思
想ガアル、議會ト政府、立法ト行政ナドト
云フコトヲ顧ルノ暇ガナイ、強力ナ力ヲ以
テ總テヲ支配シナケレバナラナイト云フコ
トラ申サレテ居リマスガ、皆共通ナ思想デ
アリマス、瀧政府委員ノ言ハレタ所ノ思想
モ、陸軍大臣ノ茲ニ述ベラレテ居ル意味
モ、國民全體ノ生活ヲ保護スル爲メ、經濟
ヲ圓滑ニ運行スルト云フ、成程獨裁政治ヲ
ヤレバ、支配スル人達バカリハ圓滑デアリ
マセウ、獨裁權ヲ持ッテ徹底的ニ、今日ノ露
國ノ如ク一切ノ國民ノ生活カラ經濟マデ統
轄シテ、一手ニ國民ノ生活ヲ自由ニスルヤ
ウナ立場カラ言ヘバ、統制スル人ノ方カラ
言ヘバ、圓滑デアリマセウ、併シ國民ノ方
カラ言ヘバ非常ナソコニ幾多ノ無理ガ出來
テ來ルガ、戰時デアアルカラ我慢スルノデア
リマス、命マデモ捨テル、財産何物カ、斯
ウ云フ立前デ行クカラ我慢モ致シマスガ、
サウ云フコトラ我慢スル爲ニ、此法律ヲ戰

時ニ對シテ作ッテ居ルノデアッテ、私ハ此法
律ニ依ッテ國民ノ生活ヲ保護スルト云フヤ
ウナコトハ、ドウモ理解ガ出來ナイ、之ニ
對スル陸軍大臣ノ御答辯ガアルナラ伺ヒマ
セウ

○杉山國務大臣 先般御答致シマシタ國家
總動員ノ目的ハ、軍需ヲ充足スルバカリデ
ナク、國民ノ生活ヲ確保シテ、國家經濟ノ
運行ヲ圓滑ナラシムルト云フコトハ申上ゲ
タ通りデアリマス、唯之ヲ實行スル上ニ於
キマシテ、勿論戰爭ノ目的ヲ達シ、戰勝ヲ
得マスル爲ニ、重點ヲ軍需ニ置カナケレバ
ナラヌト云フコトハ、申ス迄モナイ事柄デ
アリマスルガ、單ニ此コトバカリニ專念致
シマシテ、國民ノ生活ニ對シテ無關心デア
ルト云フコトニナリマスルト、國民ノ生
活、經濟ニ於テ非常ナ困難ヲ齎ラスノデア
リマス、即チ例ヲ船舶、鐵道ニ取ッテ申シマ
スト、軍ノ必要カラ申シマス、此度ノヤ
ウナ逐次ニ戰況ガ發展ヲ致シマヌヤウナ作
戰デアリマシタナラバ、ハックリト鐵道輸送
ヲシテモ差支ガナイノデアリマスルガ、非
常ニ迅速ナ作戰ヲ講ジナケレバナラヌ場合
ハ、國ノ鐵道ノ輸送力ノ全力ヲ擧ゲテ輸送
シナケレバナラヌト云フ事柄モ起ルノデア
リマス、斯ノ如キ際ニ極度ニ鐵道輸送ヲ軍需

ニ使用致シマスルコトハ、一面國民ノ生活上ニ非常ナ不便ヲ來スノデアリマス、又船舶ニ於キマシテモ、今日ノ船舶事業ニ於テマダ十分ニ發達ヲ致サナケレバナラヌ現情ニアリマシテ、戰時ニ之ヲ使用スル上ニ於テ相當ニ困難ガアルノデアリマス、併ナガラ此際ニ於テ近海ヲ航海シテ居リマスル所ノ船等ニ付キマシテ、民需ガドウ云フ必要ガアルノデアル、此地方ノ物資ガドウ云フ風ニ移動シテ、他ノ地方ノ生活ニ役立テ居ルト云フヤウナ事柄ガアルノデアリマシテ、ソレ等ヲ能ク考慮致シマシテ、軍ノ需要ト、一方ニ於テハ民ノ生活ニ困難ヲサセナイヤウニ注意ヲ致サナケレバナライノデアリマシテ、是ガ十分ニ統制ガ取レ、一ツノ考ノ下ニ動クコトニ依リマシテ、初メテ斯ノ如キ事柄ガ圓滿ニ進シテ行クノデアリマス、之ヲ若シ統制ヲセズニ實行スルト云フコトニナリマシタナラバ、非常ニ地方ニ依リ輕重ガ出來マシテ、困難ヲ生ズルヤウナ場合ガアルト存ズルノデアリマス、サウ云フヤウナ點等ニ於キマシテ、是ハ一例デアリマスルケレドモ、軍需ト共ニ民需ノ必要ニ對シテモ考慮シテ居ルト云フ點デアリマス

○植原委員 只今陸軍大臣ノ御答辯ヲ伺フ

ト、戰時ニ於テ國民經濟ヲ統制サレナケレバナラス、又其準備行動ヲ致シテ置カナケレバ戰時ノ場合完全ニナライ、ソレニ對シテハ私ハ何モ異議ノアル者ヂヤアリマセヌ、ケレドモ此法律ノ目的ハ、國民ノ生活ヲ保護スルコトデナクテ、國家非常時ノ場合ニ於テ國力ヲ一點ニ集中シテ、ソコニ差向ケテ萬遺憾ナキヲ期スル爲メ、一定ノ目的ニ向ッテ國民ノ全智全能力ヲ集中スル爲ニ作ル所ノ法律デアルト私ハ了解シテ居ル、ソレヲ行フ上ニ於テ、國民ノ生活ヲ努メテ不安ナカラシムルヤウニスルコトハ、當リ前ヂヤアリマセヌカ、ソナコトハ説明ニハナライノデス、如何ナル場合ニ於テモ、國家ノ全力ヲ、或ル一點ニ傾注シヨウトシテ向ケテ居ル時ニモ、國民ノ生活ニ不安ヲ生ゼシメナイヤウニスルコトハ、當リ前ノコトデアル、然ルニ陸軍大臣ノ本會ニ於テノ御説明ヲ見マスルト、其前後ヲ讀ンデ見マシテモ、國民生活ヲ保護スル爲ニ、經濟ノ運行ヲ圓滿ナラシムル爲ニ、此法律ヲ作ルト云フ意味ダト御述べ、ニナッテ居ルカラ、ソコニ誤解ノ生ズルト云フコトヲ申述ベテ、是ハサウ云フ意味デナクテ、私ガ申スヤウナ意味デ、其間ニ自ラ國民ノ生活ヲモ注意スルト云フコトデアラウト思ヒマ

ス、次ニ陸軍大臣ニ御尋シタイコトハ、陸軍大臣ハ斯様ノコトヲ御述べ、ニナッテ居ラレル、是モ牧野君ノ質問ニ對シテデアリマス、歐洲大戰ニ露國ヲ獨逸ガ敗退シタノハ、國家總動員ノ準備ナカリシ爲メダト斷定サレテ居リマスガ、果シテ是ガ獨逸ヤ露國ノ敗因トシテ認メラレテ居ルノデアリマスカ、陸軍大臣ハハッキリ露國ヲ獨逸ガ歐羅巴戰爭ニ負ケタノハ、總動員法ガナカッタ爲メダ、其準備足ラザリシ爲メダト御述べ、ニナッテ居リマスガ、今日ニ於テモ陸軍大臣ハ歐羅巴戰爭ニ於ケル露國ノ敗退、獨逸ノ敗北ガ左様ナ意味ニ依ッテ起ッタモノト御考ヘニナッテ居ルノデアリマセウカ、如何デアリマセウカ、吾々ハ是ト甚シク見解ヲ異ニシテ居ルト云フ理由ヲ申述ベテ、御考慮ヲ促シテ、御返答ヲ承リタイ、露國ハ歐洲大戰中ニ過去ニ於ケル專制政治ノ爲ニ内亂ヲ勃發シテ、國家ヲ崩壊セシメタモノダト、私共ハ斷判致シテ居リマス、世界ノ歴史家モサウ見テ居リマセウ、總動員法ガナカッタ爲ダナドトハ思ハナイ、獨逸ニ付テ申シマスナラバ、歐羅巴ノ戰爭前ニ於テ、法律ノ有無ニ拘ラズ、戰爭ノ爲ニ全國力ヲ擧ゲテ準備ヲ致シテ居ッタモノハ、獨逸帝國デアルト私共ハ判斷致シテ居リマス、世界ノ歴

史家モ亦サウ見テ居リマス、獨逸ノ敗因ハ當時ノ國際情勢ヲ誤認シ、自國ノ國力ヲ過信シテ、戰爭ニ邁進セシコトガ獨逸ノ敗因デアルト、私共ハ考ヘテ居リマス、其當時ノ歐羅巴各國ノ情勢ヲ私共判斷スル場合ニ於テ、一番戰爭ノ爲ニ準備ヲ致シ、國民ヲ訓練シテ居ッタモノハ獨逸デアル、然ルニ其獨逸ハ國際情勢ニ深甚ナル注意ヲ拂ハズ、自分ノ國力ニ自惚レ、其結果獨逸ガ最後ニ於テ敗北スルヤウナ結果ニ到達シタモノダト思ヒマス、然ルニ陸軍大臣ハ、明カニ獨逸ヤ露國ガ歐洲大戰ニ於テ敗北シタノハ、國家總動員ノ準備ガナカッタ爲デアルト言明ナサツテ居リマス、今デモ左様ナ御考ヲ持ッテ居ラレルカドウカ、之ヲ伺ッテ置キタイノデアリマス

○杉山國務大臣 只今植原君ノ申サレタコトハ御尤デアリマス、私モ全然同感デアリマス、併ナガラ兩國共ニ總動員ニ關スル準備ガ不十分デアツテ、是ガ戰爭失敗ノ主要ナル原因ヲ成シテ居ルト云フ事柄ハ、是ハ疑ノナイ所デアリマス

○植原委員 ドウモ陸軍大臣ノ仰シヤルコトガ分リマセヌ、陸軍大臣ハ牧野君ニ對スル御答ノ中ニ、ハッキリ露國ト獨逸ノ敗因ハ、總動員ノ準備ガナカッタ爲ダト申サレテ居

ル、私共ハ露國ガ歐羅巴ノ戰爭ニ際シテ崩壊シタノハ、戰爭準備デナクテ、露國內ニ其前カラ當時行ハレテ居ッタ極端ナル專制政治ガ内訌ヲ起シテ、ソレガ爲ニ崩壊シタノデアル、戰爭ノ準備カラ言ヘバ、歐羅巴戰爭當時獨逸ガ一番好ク準備シテ居ッタ、戰爭ノ準備バカリデ中々國際問題ヘ取扱ヘナイ、獨逸ガ自分ノ力ヲ自惚レ過ギタ、國際情勢ヲ考ヘズニヤッタ、隨テ世界ヲ皆敵トシテ戰ハナケレバナライ初目ニ陷ッタコトガ、縱シ總動員ノ準備ガアツデモ負ケタコトデハナカラウカ、サウ世界歴史家ガ言ヒ、私共ハ判斷シテ居リマス、ソレデモ陸軍大臣ハ總動員ノ準備ノナカッタコトガ露國、獨逸ノ敗北ノ原因ダト御考ニナッテ居ルカドウカト云フコトデス

○杉山國務大臣 私共申述ベテ居リマスノハ、此失敗ノ原因ノ主要ナルモノ一ツデアルト考ヘテ居ルノデアリマス、若シ此前ノ會議ニ於テ牧野君ニ對スル御答ノ際ニ、ソレ唯一ツデアルト云フ風ニ私ガ答ヘテ居ッタノデアリマスレバ、ソレハ私ノ申述ベ方ノ言葉ノ足りナカッタ所デアリマシテ、原因ノ主要ナル一ツデアルト云フコトヲ申シタノデアリマス、殊ニ獨逸ハ御承知ノ如ク準備ガ出來テ居ッタノデアリマス、併ナガ

ラスク長期ニ作戰ガ續クト云フコトハ豫想ヲシナカッタノデアラウト思ヒマス、隨テ是等ニ對スル準備ヲ最初カラ致シテ居リマシタナラバ、尙ホ耐ヘテ居ッタカモ分ラヌノデアリマス、然ルニ御承知ノ如ク獨逸ガ授權法ヲ設ケマシタノハ、作戰ガ始リマシタ後ニ、大急ギデ此法ヲ作ッテ色々ナ施策ヲ試ミタノデアリマスルガ、十分ニ其目的ヲ達スルコトガ出來ズニ、長期ニ互ルニ從ッテ國內ニ非常ナ不安ヲ起シタノデアリマス、此國內ノ不安カラ戰爭遂行ノ爲ニ國家團結ニ向フ所ノ力ガ、段々緩ンデ來タト云フ事柄モ蔽フベカラザルコトデアリマス、サウ云フ點カラ事ノ起ラス前ニ於キマシテ、國家總動員準備ヲシテ置カナケレバナラスト云フコトヲ、強ク私ハ感じテ居ルノデアリマス

○植原委員 此場合ニ於テ陸軍大臣ト私ト、歐羅巴ノ戰爭ニ於ケル露國ヤ獨逸ノ敗北ノ理由ヲ議論シヨウトスルノガ、私ノ目的デハアリマセヌ、ソレハ承ッテ置キマス、唯サウ云フ言葉ニ依ッテ、此法案ヲ審議スル場合ニ於テ、國民ニ迷ヲ生ズルコトヲ惧レマスルガ故ニ、唯此質問ヲ呈シタノミデアリマス、次ニ私ハモウ一ツ陸軍大臣ニ御尋シタイノハ、陸軍大臣ハヤハリ過日本會議

ノ御答辯中ニ斯様ナコトヲ申サレテ居ル、殊ニ今日ノ時局ニ於テ長期作戰ヲ遂行スルニ當リマシテ、國際的關係上、將來ニ於キマシテ如何ナル重大ナル事態ガ發生スルヤモ測リ知り得マセヌノデ、此際ニ於テ此總動員法ノ制定ヲ爲シ、之ニ對スル國民ノ認識諒解ヲ求メ、之ニ對スル計畫準備ヲ致スコトニ依リマシテ、初メテ圓滑ニ急ニ應ズル所ノ變ニ處スルコトガ出來ルノデアリマス」ト、此御意見ハ全部肯定致シマスガ、是ハ準備ノ爲デアルト思ヒマス、一旦有事ノ際ニ處スル爲ニ、準備的ノ總動員計畫ガ必要デアル、其總動員計畫ニ依ッテ準備ヲ進メテ置ク必要ガアル、是ハ御尤デアリマス、ソレナラバ此總動員法ノ二十一條以下デ足リルデハナイカト、斯ウ云フ議論ガ起ッテ來ルノデアリマス、此一條カラ二十條マデハ要ラナイデヤナイカ、是ガ陸軍大臣ノ此總動員法ヲ制定サレル所ノ、眞ノ意味デアルトスルナラバ、二十一條以下デ足リルノデアリマス、一條カラ二十條マデノ規定ハ取除イテ宜シイ、此目的ヲ達スル爲ニハ二十一條以下デ結構ダト思ヒマス、本當ニ政府ガ其腹ヲ以テ、其決心ヲ以テ、ソレダケノ必要ナル豫算ヲ取ッテ當ラレ、バ、是ダケデ十分デアルト思ヒマス、是ガ目的デアルナラバ、

一條カラ二十條マデヲ削ッテシマッテ、サウシテ國家總動員準備法トシテ、此法ヲ立直ス御趣意デ宜カラウト思ヒマスガ、サウナサル御意思ガアルカドウカ、ソレガ一ツ、モウ一ツ此國家總動員法ハ、戰時ニ於テ行使スル條項ト、準備ノ爲ニ行使スル條項トノ二ツガアリマス、併シ此國家總動員法ガ發布サレテ、實施サレル場合ニ於テハ、全部ガ效力ヲ發生スルモノデアリマス、勿論政府ハ斯ウ御答ニナルデセウ、必要ナモノニ應ジテ勅令ヲ定メテ、サウシテ此法律ノ運行ヲ圖ルノダ、國家有事ノ場合ニ必要ナルモノハ其必要ノ時ニ勅令ヲ定メルノダト、斯ウ御答辯ナサルカモ知レナイ、其御答辯ナラ其御答辯ヲ一應承ッテ置キマスガ、サウ云フコトデアリマスレバ、此立法ニ對シテハ私共非常ナ疑問ヲ生ズルト云フコトダケヲ申上ゲテ、只今ノ此本會議ニ於ケル陸軍大臣ノ御答辯ガ、若シ本案提出ノ理由デ、他日國家有事ノ場合ヲ憂慮スル爲ニ之ヲサレルナラバ、二十一條以下デ宜イデヤナイカ、ソレダケデオヤリナサラスカ、又一ツノ法律ノ中ニ、其法律ヲ發布シテカラ、執行スルモノト執行セザルモノト含メテ置クヤウナコトハ、洵ニ國民ニ不安ヲ與ヘルコトデヤナイカ、又今要ラナイ勅令ハ欄ニ上

ゲテ置イテ、要ルモノダケヤルト云フノハ、行政官ノ專斷行爲ニナルデヤナイカ、茲ニ又繰返シテ起ル委任立法ノ問題ガアルデヤナイカ、斯ウ云フコトヲ御考ニナッテ、私ノ只今ノ質問ニ對スル御答辯ヲ煩シタイノデアリマス

○杉山國務大臣 此事變ノ推移ニ依リマシテハ、國際關係ガ如何ニ變換スルカ、是ハ豫測ヲ許サスノデアリマス、斯ク切迫ラシテ居ル此際ニ於キマシテ、此國家總動員ヲ早ク決メテ置ケバ決メテ置クダケ、之ニ對スル準備モ出來、又今後ニ於ケル處置ガ敏活ニ行クノデアリマス、即チ前カラ度々質問ヲサレテ居リマスルノデアリマスガ、是ハ極メテ廣漠タルモノデアル、ハッキリシテ居ラナイト云フコトヲ言ハレルノデアリマスルガ、此總動員法ニ依リマシテ、大體國民トシテハ、ドウ云フコトニ向ッテ力ヲ協セテ行カナケレバナラスノデアルカト云フ事柄ヲ、先ヅ以テ國民ニ認識ヲ與ヘ、之ニ對スル信念ヲ作ッテ置キマシテ、然ル後ニ必要ナル時機ニ於テ、直チニ之ヲ發動シ得ルヤウニ、本法案ヲ確定致シテ置クコトガ適當デアルト、私共ハ固ク信ジテ居ルノデアリマス、即チ第一條カラ二十條マデノ問題ニ付キマシテハ、今日ヨリ此國家總動員ノ形態

ト云フモノハ、斯ウ云フモノデアルト云フ事柄ヲ示ス爲ニ、極メテ必要デアルノデアリマス、又之ヲ示ス爲ニ、ソレデハモウ少シ細カク本法ニ於テ規定シテ置イタナラバ、如何カト云フ御尋モアルノデアリマスルケレドモ、此點ニ付テハ今後情勢ガ如何ニ變換スルカ分リマセス、例ヘバ狀況ノ變化ニ依リマシテハ、陸軍ヲ全部使ッテ、海軍ハ一部デ宜イト云フ場合モアリマセウシ、又海軍全力ヲ使ッテ、陸軍ハ一部デ宜イト云フ場合モアリマス、又陸海軍全部ヲ舉ゲテ應ジナケレバナラスト云フヤウナ情勢モ現レルト思ヒマス、又經濟方面ニ於キマシテモ、其當時ノ國際ノ狀況カラ考ヘマシテ、非常ニ變化致スベキモノデアラウト思フノデアリマス、是等ノ狀況ヲ考ヘマスルト、今日カラ此法案中ニ、明ニ細カイ具體的ノ所マデ規定ヲ致シテ置キマシテモ、實際ノ狀況ニ即應セザルト云フヤウナ事柄ガアルノデアリマシテ、其實際ノ事實ニ即應致シマスルヤウニスル爲ニハ、其必要ノ迫ラタ時ニ發動スルコトガ出來、而モ是ガ迅速ニ出來ルト云フ方法ヲ執ッテ行クコトガ、情勢ニ應ズルノデアリマシテ、斯ノ如キ關係カラ此中ニ細部ノコトヲ具體的ニ申述ベルコトガ出來ヌノデアリマス、サウ云フ關係デアリマシテ、此

中ニ具體的ニハ申シマセヌケレドモ、一條ヨリ二十條マデ大體ノ形態ヲ國民ニ認識セシメマシテ、之ニ依ッテ必要ナル時期ニ應ジテ、委任勅令ニ依ッテ其時ノ事情ニ適應スルヤウニ致シタイト云フコトニ考ヘテ居ルノデアリマス、尙又本法ヲ發動スル場合ニ於テモ、逐次之ヲ運行スルノデアラウト云フ御話デアリマスガ、是ハ御説ノ通りデアリマス、現ニ軍需工業動員法ヲ、此前ノ議會ニ於キマシテ協賛ヲ經タノデアリマスガ、是モ管理、使用、收用ト云フコトニナッテ居ルノデアリマスガ、現在ニ於テハマダ管理モ全部デナク、極ク一部分必要ナルモノニ止メテ居ルノデアリマシテ、實際ノ必要ニ應ジテ此法ヲ運用シテ行クコトガ、必要デハナイカト考ヘテ居ルノデアリマス

○植原委員 陸軍大臣ノ申サレル御言葉ダケハ能ク分リマシタケレドモ、結局煎ジ詰メテ見マスレバ、茲ニ陸軍大臣ガ御述べニナツタ準備ノ爲ニ必要デアルト云フコト以外ニ、何モノモ知ルコトガ出來マセス、唯陸軍大臣ハ之ヲ國民ニ知ラシメテ置イタ方ガ、國民ガ心構ヘラスルニ都合ガ好イト仰シヤイマスガ、帝國ノ臣民ニシテ、國家有事ノ場合ニ於テ自己ノ生命、財産、權利、義務、自由等ニ對シマシテ如何様ニ剝奪サレ、如何様ニ制限サレヨウトモ問題トスル者モナシ、左様ナコトガ起ルト云フコトハ皆承知致シテ居ルコトデ、政府ガ御考ニナルヤウニ、此法律ヲ作ッテモ、何モ國民ニハチツトモ分ラナイシ、準備ニモナリマセヌ、其處ガ唯見解ガ違フダケデケレドモ、今陸軍大臣ノ御答ニ依ッテハ、此總動員法ニ十一條以下デ大概準備位ハ出來ルデハナイカ、初メノ方ノ憲法ニ章ニ關スル規定ノコトハ、是ハ國民ガ皆承知シテ居ルコトダカラ、有事ノ場合ニヤラウトスレバ何デモ出來ルデハナイカ、一ツノ法律デ今行フモノト、今行ハザルモノト一緒ノ法律ニ入レテ置クコトハ、洵ニ國民ニ不安ヲ與ヘルコトデハナイカト云フ點ニ對シテ、何等明瞭ナル答辯ヲ私共同フコトガ出來マセス、甚ダ遺憾デアリマスケレドモ、是以上言葉ノ上ノ爭ヒラシテモ、餘リニ益ナキコトト思ヒマス、唯斯ウ云フコトモ御考ニナッテ居ルカドウカ、一ツ伺ッテ置キタイ、此法律ヲ通過サシテ置ケバ、現在非常ナル國際情勢ガ存在シテ居ル時ニ、縱シ事ガナイニシテモ、國民ニハ兎ニ角、外ニ對シテ幾ラカ有利ナ影デモアリハシナイカト云フヤウナ御考ガ、此法律ヲ定メル御考ノ何處カニ潜ンデ居ルカ居ナイカ、之ヲ一ツ伺ッテ置キタイト思ヒ

マス、尙ホ言葉ヲハッキリ申上ゲマスガ、此法律ヲ提案サレルニ付テ、國內ニ對スルコトハ只今ノ陸軍大臣ノ御考ノヤウデ爲サレタコトデアリマセウ、私共ソレト甚シク見解ヲ異ニスルコトヲ唯遺憾トスルノミダ、同時ニ此法律ヲ作ルニ付キマシテ、作ッテ置クコトガ國際關係ニ於テ、幾多有益ナル影響ヲ生ズルコトガアルカモ知レナイト云フヤウナ御考ガアツカドウカ、斯ウ云フコトヲ伺ヒタイ

○杉山國務大臣 是ハ我國ト國際關係ニ於キマシテ、色々ナ狀態ガアルノデアリマシテ、是ガ如何ナル狀態ヲ與ヘルカト云フコトニ付キマシテハ、此處ニ明言スルコトハ出來マセヌ

○植原委員 陸軍大臣ニ御尋スルコトハ、ソレデ終リマシタ

○杉山國務大臣 尙ホ植原君カラ準備ノコトニ付テ御話ガアリマシタガ、是ガ發動スルヤウニナリマシタナラバ、直チニ平時ニ於テ準備計畫スベキコトニ付キマシテハ、二十一條以下ニ於テ勅令ニ依ッテ爲スベキコトヲ準備シナケレバナラスノデアリマス、而シテ其他ノ事柄ニ於キマシテハ、適當ナル時機ヲ見テ、適時發動シナケレバナラスノデアリマス、此點ヲ明ニ致シテ置キマス

○植原委員 次ニ私ハ外務大臣ニ御尋シテ置キタイノデアリマス、此問題トナッテ居リマスル所ノ國家總動員法ニ對シテハ、只今陸軍大臣ノ御述べニナツタヤウナ御趣意ト、モウ一ツハ現下ノ國際情勢ニ對シテ必要デアルト云フ御考モ潜ンデ居ルト思ヒマス、動モスルト此法案ガ出來レバ、現在ノ支那事變ニ對シテモ好イ影響ヲ與ヘハシナイカト云フ風ナコトヲ述ベラレル方ガアリマス、政府ニ於テハ左様ナコトヲ御考ニナッテ居ルカドウカ、ソレヲ一點伺ヒタイ

次ニ伺ヒタイノハ、斯様ナ事デアリマス、此法案ヲ審議スルニ付キマシテ、何時デモ政府ト私共ノ質疑應答ノ間ニ起ッテ來ルコトハ、必ズヤ國際關係ニ對シテノコトガ起ッテ來ルノデアリマス、隨テ此國際關係ニ對スル見透シノ如何、又政府ガ如何ナル指導方針ヲ以テ現下ノ國際時局ヲ處理シヨウトシテ居ルカ、斯ウ云フ問題ニ依ッテ、此法案ヲ取扱フコトモ自ラ違ッテ來ナケレバナラナイト思ヒマス、ソコデ第一ノ質問ハ私ガ申上ゲタ通り、此法案ガ通過スレバ、支那事變ニ宜シイ影響ヲ生ズルカドウカ、第二ノ問題ハ政府ハ現下ノ國際情勢ニ對シテ、如何ナル指導方針ヲ以テ之ニ當ッテ居ルカ、現下ノ國際情勢ニ付キマシテ主トシテ我國

ノ關スルコトハ、支那事變ガ中心デアラウト思ヒマス、此支那事變ヲ如何ニ取扱フカト云フコトニ依ッテ、我國ト他ノ國トノ國際情勢モ自ラ異ッテ來ル、若シ只今日「ソ」ノ間ニ不安ガ醸成サレテ居ルトスレバ、幾多ノ理由モアリマセウケレドモ、主ナルモノハ支那事變ヲ廻ッテデアリマス、又英、米、佛等トノ間モサウデアラウト思フシ、日獨ノ防共協定モ大部分之ニ向ッテ樞軸ヲ形ヅクルコトガ有益デアルト云フ御考デアラウト思フ、ソコデ支那事變ニ對シテ、私ハ出來得ル限り我國ノ目的ト致シマシテ、支那國民ヲシテ防共ノ必要ヲ痛感セシメルヤウニスル、蔣介石ノ指導ノ下ニアッタ行キ方デハ、極東ノ平和ハ維持出來ナイ、日支兩國ノ親善モ保タレナイ、ケレドモ日本ハ支那國民ヲ敵トシテ居ルノデナイ、支那國民ガ速ニ防共ト極東平和確保トニ付テ、我國ト協力スルコトノ必要ヲ痛感スルヤウニ指導スル、外交ヲ之ニ導ク、サウシテ一日モ早く日支ノ間ノ紛糾ヲ消滅セシムルヤウニスルト云フコトガ、我國ノ外交方針トシテ賢明ナル政策デハナカラウカ、ソレヲ樞軸トシテ我國ハ考ヘナケレバナラナイノデハナイカ、斯ウ私ハ思フ、サウスルト蔣介石ノ問題モアリマスガ、アノ廣イ所デ之ヲ何處マデ追ッ

詰メテ行ッたら撲滅セシメ得ルカト云フコトハ、是ハ迎モ難シイコトデアアル、故ニ只今申ス方針ニ依ッテ、一日モ早く占據地、其他ノ方面ニ向ッテ對策ヲ講ゼラレルコトガ宜イデハナイカ、曾テハ滿洲ニ於テ馬占山ノ問題ノ爲ニ、日本ノ軍部ハ非常ニ苦シンダコトガアル、生キテ居ルカ死ンデ居ルカ知ラナイケレドモ、日本ノ方デハ是ハ疾ックニ死ンデ居ルモノガ、今デモ生キテ居ルト云フ形ニ世間ニ現ハレテ居ル、モット蔣介石ヲ徹底的ニヤッ付ケウツシタッテ、中々サウ簡單ニハ行クマイト思フ、故ニ之ニ對シテハ或ル目安ヲ定メテ、何處マデモ日本ノ對支政策ハ、支那國民ト共ニ防共ト極東平和確保ノ爲ニ協力スルノダ、是ガ日本ノ本當ノ對支外交ノ指導方針デアアル、今ノ事件ハ一日モ早く、其方針ノ下ニ解決スルコトガ賢明デアルト云フ指導方針デ居ラレルカドウカ、若シサウ云フ御方針デ居ラレルト致シマスレバ、日「ソ」ノ問題ニ付テモ、是ハ他日外務大臣ガ申サレタ如ク、日「ソ」兩國ノ間ニハ非常ナ幾多ノ複雑微妙ナル、時ニ依ッテハ危險ヲ孕ンダヤウナ問題モ、伏在致シテ居ルケレドモ、是ハ漸次解決サレルト思フ、サウシテ現在ノ關係ヨリ惡化スルヤウナ虞ハナイ、ソレヲナカラシムルヤウニ

外交當局ハ最善ノ努力ヲシテ居ル、斯ウ云フ御答辯ヲナスデ居ル、又英米ニ付キマシテモ、英國ハ曾テハ支那事變ニ對シテ、非常ニ誤解モ致シテ居タシ、英國ノ國民モ支那事變ニ擲ンデ、日本ニ對シテ好イ感情ヲ持ッテ居ラナカッタガ、是モ昨今非常ニ改善サレテ、日英兩國ノ關係モ漸次改善サレル傾向ヲ生ジテ居ル、米國ニ對シテモ略、同様ダト云フ御答辯デアル、私ハ其通サト信ジテ居ル、政府ガ先刻申上ゲタ通りノ對外交ノ根本方策ヲ定メ、日「ソ」ノ關係ガ外務大臣ガ述ベラレタ如クデアリ、日英、日米ノ關係モ亦然リデアルト致シマスルナラバ、支那事變始マツテ以來今日ニ至ル迄、日本ト世界各國トノ國際關係ガ險惡デアリシノモ、將來ハ漸次改善サルベキ傾向ヲ生ジテ居ルシ、日本ト致シテモ、支那國民ニ一種ノ覺醒ノ途ヲ與ヘントシテ、膺懲ノ軍ヲ出シテ居ルノガ、相當威カヲ示サウニナツタ、實際力ヲ示シテ居ル、隨テ支那事變ノ發端ニ於ケルヨリハ、日支兩國國民——蔣介石ニアラズ、日支兩國國民ノ親善關係モ、其指導方針宜シケレバ、漸次改善サルベキ傾向ヲ生ズルト判斷シテ間違ハナイ、外務大臣ノ支那事變ニ對スル根本方針ガ、只今私ガ申上ゲタ如クデ

アリ、日「ソ」、日英、日米ノ關係ガサウデアラナラバ、事變當時カラ今日ニ至ル迄ヨリハ、此事件ヲ其指導精神ニ依ツテ、國際關係ヲ導イテ行ク方ガ、——全部安全トハ申サレナイガ、比較的危險ガ少クナルト解スベキデアルト思ヒマスガ、此點ニ付テ外務當局ハ如何ナル所見ヲ御持チニナルカ、支那ニ對スル所ノ對策、私ガ述ベタ賢明ナリト思ハル、策ガ果シテ外務當局ノ指導精神ナリヤ、日「ソ」、日英、日米ノ關係、私ガ外務大臣ノ御意見トシテ問ハウトシタコトヲ肯定サレル考カ、御答辯サレタイノデアリマ

ス
○廣田國務大臣 近年ノ國際情勢ハ、御承知ノ通り各國共軍備ノ競争ヲスルト云フヤウナ、非常ナ危險ヲ孕ンダ一般的情勢ニアルノデアリマス、殊ニ日本ハ支那事變ヲ控エテ、支那トノ間ニ非常ナ戰鬥ヲ繼續致シテ居ル今日デアアルノデアリマス、隨テ此際我國トシテ執ルベキ態度ハ、如何ナル事態ガ起ツテ來テモ、此大使命ヲ達スル爲ニハ、最大ノ覺悟ヲシテ掛ツテ行クト云フコトガ、最も大切ナコトデアルト思フノデアリマス、支那側ハ遠カラズ日本ハ財政の其他ノ點ニ於テ、非常ナ混亂ヲ來スノデハナйкаト云フヤウナコトヲ考ヘ、又ソレガ支那側ノ方

ニ於テ、長期抗戰ヲ計畫スル一ツノ目標ニナツテ居ルカノヤウニモ見エルノデアリマス、隨テサウ云フ誤ッタル認識ノ下ニ、飽マデ日本ニ反抗スルト云フヤウナ態度ハ、一日モ早く正解セシメナケレバナラスト思フノデアリマス、斯ウ云フ時ニ於キマシテ、今問題トナツテ居リマス如キ總動員ノ覺悟、決心ト云フコトガハッキリ致シテ參リマスコトハ、日本ノ實際ノ決意ヲ示シ、又日本ノ實際ノ準備ノ狀態ヲ示シマスモノデ、軍備ノ充實ト相俟ツテ、日本ノ今日携ッテ居リマスル重大事件ノ解決ニモ、相當資スル所ガアルト考ヘテ居ルノデアリマス、勿論サウ云フ覺悟ヲ以テ進ムコトハ、支那ヲシテ眞ニ日本ト提携シテ行クコトノ決心ヲ促スニアルノデアリマシテ、其決心ヲ促スコトノ一日モ速カナランコトヲ欲スルノハ、當然デアルト思フノデアリマス、サウ云フ精神ニ於キマシテ日本ト致シマシテハ、支那ヲ指導シテ參ルノニハ、其日本ノ眞意ヲ一日モ速ニ彼等ヲシテ納得セシムルト云フコトニアルト思フノデアリマス、又支那自體ガ今日長期抗戰ヲ致シテ居ル裏面ノ一ツノ考ヘ方ト致シマシテハ、相當外國ニ依存スル觀念ガアルヤウデアリマス、隨テ外國側ヲシテ日本ノ眞意ヲ十分ニ諒解セシムルコト

ガ、外交上非常ニ重要ナ役割デアルト考ヘテ居ルノデアリマス、其意味ニ於テ英米其他ニ對シマシテハ、出來ルダケ日本ノ眞意ヲ明ニスルヤウニ致シマシテ、ソレ等ノ諒解ノ下ニ、又支那側ヲシテサウ云フ諒解ニ導クヤウニ致サセテ參リタイト存ジテ居ルノデアリマス、「ソ」聯邦ノ方ノ關係ニ付キマシテハ、屢、申上ゲマスヤウニ、色々微妙ナ複雜ナ關係ガアルノデアリマス、支那側ノ蔣介石ノ氣持ノ一部ニハ、若シ他ノ國ガ援ケナケレバ、自國ハ「ソ」聯邦ト一緒ニナツテ、所謂共產革命、共產運動デ支那ヲ混亂ニ陷レテ、之ニ依ツテ日本ニ對スル長期抗戰ヲスルト云フ考ヘ方モ致シテ居ルノデアリマス、是ハ東洋將來ノ爲メ——日本ニ取ツテノミナラズ、世界各國ニ取ツテ、非常ナ脅威ヲ含ンデ居ル問題デアアルノデアリマシテ、サウ云フコトニナラナイヤウニ、支那ヲ導イテ行クト云フコトハ、非常ニ大切ナコトデ、隨テ東洋平和ノ爲メ、又世界平和ノ爲メ防共政策ノ必要ナ點ニ付テハ、十分ニ日本ノ接觸シ得ル支那民衆ニハ、徹底スルヤウニ諒解ヲサセナケレバナラスト考ヘテ居ルノデアリマス、要スルニ今日ノ國際情勢ハ、日本ハ隣國タル支那トノ間ニ、斯ル大戰闘ヲ行ツテ居リマス今日、國民ノ覺悟ト致

シマシテハ、軍事的ニハ勿論、其他ノ方面ニ於テモ最大ノ覺悟ヲ持チ、又之ヲ明ニスルコトガ、私ハ外交ノ點カラ申シマシテモ、非常ニ必要デアルト考ヘテ居ルノデアリマス

○植原委員 廣田外務大臣ノ御答ハ、私ノ御尋シタコトニ對スル御答ニハナッテ居リマセス、ケレドモ一ツダケ廣田外相ノ御言葉ノ中カラ、私ノ御尋ニ對スルハッキリトシタ御答デアルト推測サレルコトガアリマス、ソレハ斯ウ云フコトデアアル、支那デハ、日本ガ長期抗戰ノ爲ニ經濟上其他ノ事情ノ爲ニ非常耐ヘ得ナクナルダラウ、斯ウ考ヘテ長期抗戰ヲ目指シテ居ル、隨テ此場合ニ、ソシナコトデ日本ハ驚カナイノダ、日本ノ國民ノ決心ハモット強イ所ニアルゾ、日本ノ經濟力モ、財政力モ、産業力モモット強イ所ニアルゾト云フコトヲ示ス爲ニハ、此總動員法ヲ作ルコトガ有利デアアル、斯ウ思フト云フヤウナコトヲ、ハッキリトハ御言ヒナサラナイケレドモ、御言葉ノ筋々カラ判斷シテ、サウ云フ風ニ了解サレルト思ヒマス

ソレヲ私ハ此處デ議論致シタクハアリマセヌ、唯私共ノ考ハ逆デアアル、將來ノ日本ノ國家ノ危機ニ對シテ、準備行爲ヲシテ置クト云フコトナラバ、洵ニハッキリ致シマス

ケレドモ、支那ガ日本ノ色々ノ力ノ足リナイコトヲ、今懸念シテ居ル時ダカラ、總動員法ヲ作ツタ方ガ、支那ニ對シテ強ク臨メルト云フノハ、取り様ニ依ッテハ斯ウナリマス、日本ハ行詰ッタ、故ニ總動員法ヲ作ッテ國家ノ財政モ、經濟モ、産業モ一ニ集メナケレバ、此支那事變ニ對シテサヘモ對抗出來ナイノデハナイカト云フ風ニ解釋サレル半面モ、多大ニアルト云フコトヲ、私ハ御考ヲ願ッテ置キタイ、一國ノ産業、經濟、財政ノ力、國民ノ經濟力ハ極端ナ統制ノ下ニ於テハ萎縮スルモノデアリマス、戰爭ノ爲ナラ已ムヲ得マセヌヨ、ドンナ犠牲ヲ忍ブコトデモ已ムヲ得マセヌケレドモ、一國ノ經濟ヤ、産業ヤ、財政ヤ、國民生活ノ向上發展ヲヨリ能ク圖ルト云フノナラバ、寧ロ此動員法ニ現レテ居ルガ如キ極端ナル統制ニ導カナイ所ニ、有利ナ事ノアルト云フコトニ付テハ、私ハ恐ラク何人モ、如何ナル經濟學者モ、社會學者モ、政治家モ疑ハザル所デアルト思ヒマス、隨テ只今外務大臣ノ御答ニナリマシタコトニ依リマスレバ、反對ノ判斷ニ之ヲ利用サレル虞モアル、日本ハ支那事變ダケデモ行詰ッタデヤナイカ、將來支那事變ガ起ツタヨリ、日本ノ指導如何ニ依ッテハ、幾分國際情勢ヲヨリ善ク導ケル環境ニ、外

務大臣ノ御説明ニ依ッテモ置カレテアルノニ、茲ニ急遽總動員法ヲ作ルト云フコトハ、餘程日本ハ行詰ッタデヤナイカト云フヤウナ考モ與ヘラレル虞ガアル、ソレヨリハ準備行爲ナラ幾ラシテモ宜イノダカラ、此動員法ノ二十一條以下徹底のナ、周到綿密ナル萬遺憾ナキ總動員準備計畫ヲ立テテ、其法律ヲ作ッテ行クコトノ方ガ、ドウモ便宜ノヤウニ考ヘラレマスケレドモ、是以上私ハ此問題ニ對シテ議論ヲ致シタクナイノデアリマス

次ニ是ハ繰返シノヤウニナリマスケレドモ、是モ國民カラ言ヘバ一ツノ誤解ニナリマスカラ、私此場合ニ御尋シテ置カナケレバナラス、廣田外相ハ此委員會ニ於テ、此總動員法ヲ御説明爲サル時ニ、斯ウ云フコトヲ申サレテ居ル、「本案ハ現代戰ノ特質デアル所ノ國力戰ノ必要ニ應ズベキ所要ノ措置ヲ、戰時ニ際シテ敏速ニ講ジ得ベキ根據ヲ規定シタモノデアリマシテ」是ノ意味ナラバ、戰時ニ對シテ法律モ作ルコトハ出來ル、憲法第八條ノ緊急勅令ニ依ルコトモ出來ル、更ニ進ンデ第三十一條ノ大權發動ニ依ルコトモ出來ル、左様ニ致シテ日本國民ノ精神ヲ一舉ニ總動員出來ルノデアルノニ、是ダケノ御説明ニ依ッテ見ルト、此總動員法

ヲ御提案ニナル理由トシテハ、洵ニ貧弱ナヤウニモ思ハレル、第二ニ又斯様ナコトヲ申シテ居ル、斯ノ如キ戰時發動ヲ必要トスル政府ノ權限ノ大綱ハ、大體之ヲ豫定シ得ル譯デアリマスカラ、豫メ議會ノ協賛ヲ經テ之ヲ定メテ置キマシテ、其範圍内ニ於テ政府ガ戰爭ノ實際ノ狀況ニ即應シマシテ、臨機ノ措置ヲ講ジ得ルコトト致シマス、「大體ノ大綱ヲ豫想シ得ルモノナラバ、是ハ法律デ其項目ニ依ッテ致スベキモノデ、斯々總括的ニ勅令ニ依ッテ委任立法ノ形ヲ執ルベキモノニアラズト云フコトガ、又再ビ茲ニ出テ來ル、此提案ノ理由ヲ讀ミマシタ者ハ、必ズサウ云フ印象ヲ受ケルヨリ致シ方ガイ、ソレト只今ノ外務大臣ノ國際關係ニ對スル御答辯ト併セテ見マスレバ、此總動員法ヲ使ハザルモ——今日少クトモ使ハナイ所ノ規定、一條ヨリ二十條ニ至ル迄ノ使ハザル規定ヲ、今日定メテ置ク必要ハナイノデハナイカ、斯ウ云フ結論ニ到達セザルヲ得ナイノデアリマス、之ニ對シテ御答辯ガアルナラバ承リマス

○鹽野國務大臣 御尋ノ點ハ結局委任命令ノ問題ニ歸著スルノデアリマス、尙又本法提出ノ必要ナル所以ニ付キマシテモ、關聯スルノデアリマスガ、此點ニ付キマシテハ、

先程陸軍大臣ヨリ其必要ナル所以ヲ説明ヲ致シテアリマス、尙又委任立法ノ點ニ付キマシテハ、私カラ再三御答ヲ致シテ居ル所ヲ以テ御諒承ヲ願ヒタイト存ジマス

○植原委員 是デ私ノ質問ハ終リマス

○小川委員長 ソレデハ是ニテ休憩シマス、午後二時ヨリ開會致シマス

午後零時四分休憩

午後二時八分開議

○小川委員長 休憩前ニ引續キマシテ會議ヲ開キマス——小山谷藏君

○小山委員 私ハ主トシテ近衛總理大臣ニ御尋ヲ致シタイト思ヒマス、過日來本法案ヲ繞リマシテ、本會議竝ニ當委員會ニ於テ、政府ニ對シテ、委員諸君カラ本法案ト憲法問題トニ關聯致シマシテ、可ナリ詳細ニ質問應答ガ繰返サレタノデアリマス、私ハ主トシテ本法案ト政治トノ關係ニ付テ御尋ヲ致シタイノデアリマスルガ、私ノ質疑ニ入ルニ先ダッテ、此委員會竝ニ本會議ニ於テ、憲法問題ニ關スル政府ノ見解ト、又委員諸君ノ質問ノ趣旨トノ間ニ現レタ、私共ノ感想ヲ一言述べサシテ戴キタイト思ヒマス、政府ノ御答辯ヲ伺ッテ居リマスルト、成程政府トシテハ一ツノ見解ノ上ニ御立チニナッテ居ル、又質問者ノ意見ハ、質問者トシテノ一

ツノ見解ノ上ニ立ッテ居ラレノデアリマシテ、何レモ相當ノ言分ガアル、即チ之ヲ要約致シマスレバ、憲法解釋ニ關スル見解ノ相違トデモ申スノデアリマセウ、私ハ憲法問題ニ付テハ素人デアリマス、又深い研究モ何モ持チマセヌカラ、此點ニ付テ敢テ私ハ此處テ言議ヲ挾ム積リハアリマセヌガ、吾々國民ノ常識ニ依ッテ、過日來繰返サレタ憲法論ヲ拜聽致シマシテ、國民ハドウ云フ感ジヲ持ツガラウカ、私モ常識シカ持タヌ國民ノ一人トシテ感ジタ其感想ハ、政府ノ御見解ハ所謂思想的根據ニ於テ、天皇機關説ト何處カ相共通スルモノアルニアラズヤト云フ感ジデアリマス、憲法第三十一條ノ所謂非常大權、是ハ政府ノ見解カラ申シマスルト、固ヨリ非常大權ハ我國獨特ノ憲法ノ天皇ノ大權デアルガ、併シ出來ル限リ之ヲ法律規定ノ出來ルモノハ規定シテ置ク方ガ宜シイ、是モ一ツノ見解デアリマセウ、又質問者ノ立場カラ申シマスルト、本法案ニ現ハレタルガ如キ、即チ國民ノ權利、義務、自由、財産、若シ之ヲ極度ニ擴張シテ參リマスルト、憲法第二章ノ國民ノ權利モ、自由モ、財産モ殆ド包括スルガ如キ、言換ヘテ見レバ天皇ノ非常大權トシテ殘サレタルモノハ殆ドナイデハナイカ、斯ウ云ッ

ヤウナ立場カラ見マスルト、即チ天皇ノ非常大權ト云フモノヲ空ニシテシマフ嫌ガアルデヤナイカ、是モ一ツノ見解ダト思ヒマス、私ハドチラガ宜イカ、固ヨリ是ハ專門家ノ深キ研究ヲ要スル問題ダト思ヒマスルガ、斯ウ考ヘテ參リマスルト、只今申上ガタ通り、所謂天皇機關説ト同ジ思想系統カラ流レタ見解ヲ、政府ハ取ッテ居ラレノデハナイカ、惟フニ國民トシテハ私ト同様に感ジヲ持ツ者決シテ少クナイダラウト、斯様ニ私共ハ過日來ノ質問應答ヲ拜聽致シタノデアリマス、私ハ其何レガ正シイカ、何レガ宜イカ、ヨモヤ近衛内閣トシテハ、サウ云ッヤウナ憲法ノ解釋ヲ御取リニナッテ居ラレルモノトハ信ジマセヌ、併シ若シ私ガ只今申上ガタ點ニ幾分カデモ疑ヲ持タセルト云フコトハ、是ハ餘程御留意ナサラナケレバナラスト、斯様ニ信ジマスルカラ、此點ニ付テハ近衛首相ノ深甚ナル御考慮ヲ煩シタイ、即チ過日來本議場ニ現ハレタ質問應答ヲ拜聽致シマシテ、斯様ニ感ジヲ持ツタコト云フコトダケ申上ゲマス、若シ是ガ間違ッテ居レバ洵ニ仕合セデアリマス、ダガ斯様ナ疑惑ヲ抱カシメル嫌ナキヤト云フコトヲ感ジマシタカラ、私ノ質問ニ入ルニ先ダチマシテ、一言ダケ申上ゲテ置キタ

イト思フノデアリマス、私ハ進ンデ此法案ト政治トノ關係ニ付キマシテ、私共ノ疑惑ヲ質シタイト思フノデアリマス、此法案ハ極メテ重大ナル政治的ノ影響ヲ持ツコトハ、申上ゲル必要ハナイ、即チ之ヲ實施致シマスレバ、唯單ニ戰時非常ノ場合ニ、軍需ニ關スル種々ナル束縛ヲ國民ニ與ヘルバカリデナク、陸軍大臣ガ説明サレタ通り、所謂國民ノ生活、或ハ經濟運行ノ變革ト云ッヤウナ所マデ手ヲ延バサウト、言葉ヲ換ヘテ言ヘバ、政治ノ殆ド全部ヲ舉ゲテ、此法案ノ下ニ支配シヨウト云フコトニナルノデアリマスルカラ、サウ云フ場合ヲ豫想致シマス、極メテ重大ナル政治的影響ヲ持ツコトハ論ナキ所デアリマス、ソコデ色々國民ノ立場カラ申シマスルト不安ガ起ッテ來ル、私ガ先ヅ第一ニ總理大臣ニ御伺致シタイト思ヒマスコトハ、此法案ヲ此議會デ今日審議シナケレバナラス必要ハ、一體何處ニアルカ、過日來此コトニ付テハ政府當局カラ色々御話ガアッタノデアリマス、アッタケレドモ私共ハドウモ政府ノ御言明デハ合點ガ行カナイ、此法案ハ今進行中ノ支那事變ニ直チニ活用スル必要ハナイ、或ハアルカモ知レスト言ッヤウナコトヲ仰シヤルノデアリマスガ、私ノ見ル所デハ、之ヲ支

那事變ニ適用シヨウト云フ意味デハナイラ
シイ、若シサウダトスレバ、私ハ之ヲ審議
スルノハ最モ不適當ナ時期ダト思フ、今日
程惡イ時期ハナイ、ニモ拘ラズ政府ハ強イ
テ之ヲ此議會ニ提案サレタ、ナゼ不適當ナ
時期デアルカト申シマスレバ、近衛内閣ト
シテモ、此法案ハ議會ヘ出シテモ、サウス
ラスラト議會ヲ通過シナイト云フコトハ萬
萬御承知ノ答デアッタ、此意味ヲ取入レテカ、
サウ云フ譯デアッタカドウカ、政府ノ内情ハ
私存ジマセヌケレドモ、過日總理大臣自ラ
御話ニナラレタ通り、最初原案トシテ政府

ナイカ、私共ハ斯ウ思フノデアリマス、然
ルニサウ云フコトヲ萬々御承知ノ上、之ヲ
此議會ニ出サレタト云フコトハ、過日來政
府ガ話サレタ以外ニ、何カ特別ノ理由ガア
リマスカ、如何デアリマスカ、私共ハ斯様
ニ考ヘテ來ルト、之ヲ此議會ニ出サナケレ
バナラヌト云フ必要ハ、ドウシテモ合點ガ
行カナイ、執拗イヤウデアリマスガ、先ヅ
此點ニ關シテ御親切ナル御説明ヲ煩ハシタ
イト思ヒマス

ガ御組ミニナッタ法案ノ内容ニ、相當變更ヲ
加ヘラレテ議會ニ御提案ニナラレタ、是ハ
議會ノ空氣ヲ御察シニナラレテ、斯様ナ處
置ヲ御取リニナッタヤウナ意味ノ御話ガアッ
タト思ヒマス、換言スレバ、之ヲ議會ニ御
提案ニナル適當ナ時期デナイ、議會ニ出シ
テモ中々サウ簡單ニ通過スルモノデナイト
云フコトヲ、萬々御承知ノ上デ出サレタト
思フノデアリマス、時ハ今日日本ノ歷史上ニ
殆ド先例ヲ見ザル非常時ナンデス、此事變
ニ之ヲ適用スル必要ナイトスレバ、議會ト
政府トノ間ニ斯ウ云フ問題ヲ廻ッテ動モス
レバ所謂國內ニ論争ヲ重ネルト云フヤウナ
コトハ、是ハ避ケラレタ方ガ宜シイノデハ

○近衛國務大臣 只今ノ小山君ノ御尋ハ、
此法案ヲ何ガ故ニ急イデ此議會ニ提出致シ
タカト云フ御趣旨ト拜承致シマシタ、此總
動員法ナルモノヲ制定スルコトノ必要ナル
コトハ、モウ十數年來政府ガ研究致シタ結
果ノ結論デアリマス、而シテ此支那事變ガ
勃發シテ、而モ其事變ノ經過ガ如何ニナリ
行クカト云フコトハ、全ク豫測スルコトガ
出來ズ、殊ニ昨年来長期抗戰ノ覺悟ヲ定
メマシタ、更ニ今年ニ入りマシテカラハ、蔣
介石政權ヲ對手ニセズト云フ聲明ヲ致シマ
シテ、一層局面ガ重大化シテ參ッタノデア
リマス、隨テ此國家總動員法ノ必要ヲ、一
層昨今ニ至ッテ痛感スルニ至ッタノデアリマ
ス、陸軍大臣ハ過日此支那事變ニハ、直チ
ニ此總テヲ適用シナイト云フ風ニ御答申上

ゲタト存ジマス、ソレハ其通りデゴザイマス
ケレドモ、併ナガラ此事變ノ前途ハ、何時
如何ナル變化ガ起リマシテ、所謂最惡ノ場
合ガ生ジテ來ナイトモ限ラナイ、サウ云フ事
情ヲ考ヘマスルト、ヤハリ此總動員法ナル
モノハ、成ベク速ニ之ヲ制定致シテ置キマ
シテ、國民ニ豫メ其心構ヘラセシメテ、一
朝最惡ノ場合ニ達シマシタ場合ニ、眞ノ協
力ガ得ラレル其基礎ヲ作ル必要ガアルト考
ヘルノデアリマス、サウ云フ意味ニ於キマ
シテ、此議會ニ提案ヲ致シタノデアリマス、
ソレ以外ニ別ニ意味ハゴザイマセヌ

(委員長退席、宮脇委員長代理著席)
然ルニ更ニ是ガ惡化シテ、此總動員法ノ如
キモノヲ用意シナケレバナラヌト云フヤウ
ナコトデハ、一體政府ガ此事變ヲ如何ニ始
末シヨウカト云フ信念ヲ持タヌコトニモ見
エル、私ハ政府トシテ其御心配ヲサレルノ
ヲ無理ダトハ申シマセヌケレドモ、サウ云
フコトハ苟且ニモロニスベキコトデハナ
イ、殊ニドウ云フ風ニ變化スルカモ知レヌ、
如何ナル惡化ヲ來スカモ知レヌト云ッタヤ
ウナコトハ、過日來外務大臣ガ色々ナサレ
タ最近ノ外交關係ヲ繞ッテノ御説明トハ、大
分其意味ガ違フノデアリマス、私共ノ見ル
所モ、外務大臣ノ御話ガ本當ダ、國民ハ斯
様ニ信ジテ居リマス、私ガ申上グル迄モナ
ク、英國ノ「イーデン」外相ノ退却ハ、之ヲ
繞ル歐洲外交關係ノ一大變化ト私共ハ見テ
居ル、隨テ對「ソビエト」ノ關係、是ガ極東
ニドウ云フ影響ヲ及ボスカト云ッタヤウナ
コトハ、外務大臣ノ御説明ガ本當ナリト國
民ハ信ジテ居ル、換言スレバ、只今總理大
臣ノ言ハレタヤウナコトハ、決シテ御無理
ダトハ申シマセヌケレドモ、眞ニドウ云フ
變化ヲ來スカモ知レヌト云フヤウナコトダ
ケデハ、御尤ダト云フ譯ニハ參リ兼ねル、
若シサウ云フコトヲ仰シヤルナラ、今日マ

○小山委員 只今ノ總理大臣ノ御説明ハ、
過日來他ノ國務大臣等カラモ大同小異ノ御
話ヲ伺ッテ居ッタノデアリマス、成程支那
事變ハ今後ドウ變化スルカモ知レヌ、ソレ
ハ一面カラ言ヘバ御尤デアリマス、當然ノ
御心配デアラウト存ズルノデアリマス、
併シ又一面カラ考ヘルト、一體政府ハ
此事變ヲドウ始末スルカ、是ハ實ニ吾々國
民ノ立場カラ申シマスルト、只今總理大臣
自ラ御述ノ通り、蔣政權ヲ對手ニセズト云
フ聲明ヲサレタ、是ハ實ニ重大ナ聲明デア
リマス、隨テ國民ハ、此事變ヲ政府ハドウ
始末サレル御考デアラウカト、非常ニ心配
ヲシテ居リマス、又ソレガ當然ダ

○近衛國務大臣 只今ノ小山君ノ御尋ハ、
此法案ヲ何ガ故ニ急イデ此議會ニ提出致シ
タカト云フ御趣旨ト拜承致シマシタ、此總
動員法ナルモノヲ制定スルコトノ必要ナル
コトハ、モウ十數年來政府ガ研究致シタ結
果ノ結論デアリマス、而シテ此支那事變ガ
勃發シテ、而モ其事變ノ經過ガ如何ニナリ
行クカト云フコトハ、全ク豫測スルコトガ
出來ズ、殊ニ昨年来長期抗戰ノ覺悟ヲ定
メマシタ、更ニ今年ニ入りマシテカラハ、蔣
介石政權ヲ對手ニセズト云フ聲明ヲ致シマ
シテ、一層局面ガ重大化シテ參ッタノデア
リマス、隨テ此國家總動員法ノ必要ヲ、一
層昨今ニ至ッテ痛感スルニ至ッタノデアリマ
ス、陸軍大臣ハ過日此支那事變ニハ、直チ
ニ此總テヲ適用シナイト云フ風ニ御答申上

○小山委員 只今ノ總理大臣ノ御説明ハ、
過日來他ノ國務大臣等カラモ大同小異ノ御
話ヲ伺ッテ居ッタノデアリマス、成程支那
事變ハ今後ドウ變化スルカモ知レヌ、ソレ
ハ一面カラ言ヘバ御尤デアリマス、當然ノ
御心配デアラウト存ズルノデアリマス、
併シ又一面カラ考ヘルト、一體政府ハ
此事變ヲドウ始末スルカ、是ハ實ニ吾々國
民ノ立場カラ申シマスルト、只今總理大臣
自ラ御述ノ通り、蔣政權ヲ對手ニセズト云
フ聲明ヲサレタ、是ハ實ニ重大ナ聲明デア
リマス、隨テ國民ハ、此事變ヲ政府ハドウ
始末サレル御考デアラウカト、非常ニ心配
ヲシテ居リマス、又ソレガ當然ダ

○小山委員 只今ノ總理大臣ノ御説明ハ、
過日來他ノ國務大臣等カラモ大同小異ノ御
話ヲ伺ッテ居ッタノデアリマス、成程支那
事變ハ今後ドウ變化スルカモ知レヌ、ソレ
ハ一面カラ言ヘバ御尤デアリマス、當然ノ
御心配デアラウト存ズルノデアリマス、
併シ又一面カラ考ヘルト、一體政府ハ
此事變ヲドウ始末スルカ、是ハ實ニ吾々國
民ノ立場カラ申シマスルト、只今總理大臣
自ラ御述ノ通り、蔣政權ヲ對手ニセズト云
フ聲明ヲサレタ、是ハ實ニ重大ナ聲明デア
リマス、隨テ國民ハ、此事變ヲ政府ハドウ
始末サレル御考デアラウカト、非常ニ心配
ヲシテ居リマス、又ソレガ當然ダ

デ何故ヤラナカッタカト云フ 政府ノ其責任ヲドウスル、今日ハ支那事變モ、既ニ蔣政權ハ南京ヲ遁竄致シマシテ、一地方政權ト轉落シテ居ル、此情勢ノ下ニ只今申シタヤウナ日本ノ外交ノ爲ニハ、有利ナル好轉ヲシテ居ルノダト私共ハ見テ居ル、此事變ノ勃發ノ當初、外交關係ハ一體ドウナルノカ、少クトモ此事變ニ對シテハ、吾々ノ知レル所ヲ以テシテモ、日本トシテハ相當ノ準備ヲシテ居ル、獨リ支那相手バカリデハアリマセヌ、是ダケノ準備ヲサレテ居ルト云フコトハ、吾々モ承知シテ居ル、是程險惡ナル情勢ノ時ニ、何故ニ其準備ヲシナカッタカ、是ハ政府ノ大ナル怠慢デアル、更ニ遑ッテ國際聯盟ヲ脫退シタ、是モ我ガ日本ト致シマシテハ、實ニ重大ナ出來事デアリマス、規約第十六條ニ依レバ、聯盟脫退ト云フコトノ次ニハ、經濟的制裁ガ伴フト云フコトノ覺悟ナシニ、聯盟ハ脫退ハ出來マセヌ、何時如何ナル變化ヲ來スカモ知レヌト云フヤウナコトハ、過去數年ノ間ニ幾度アツカ知レナイ、然ルニ今日マデ之ヲ放任シテ置イテ今之ヲシナケレバナラスト云フ理由ハ、一體何處ニアルカ、先程モ申上ゲタ通り一番不適當ナ時ダ、之ヲ議會ニ御出シニナッテモ、議會ハサウ簡單ニ吞込ム譯ニ行カスト

云フコトヲ萬々承知ノ上、此最惡ノ時機ヲ選ンデ御提案ニナツタト云フ所ニ、私共ハ政府ノ本案取扱ニ對スル熱意何處ニアリヤ、諒解ニ苦シムノデアリマス、併シ此點ニ關シテハ、只今總理大臣ノ御話以外ニ御説明ハアルマイト思ヒマスカラ、私ハ殊更ニ議論ニナルヤウナコトニ停頓スルコトハ避ケマシテ、是以上申上ゲマセヌ、唯若シサウデアルトスルナラバ、政府當局ノ怠慢ヲ如何ニスルカ、是ハ重大ナ責任デアリマス、是ダケハ明カニ申上ゲテ置キマス

只今總理大臣ハ、何時如何ナル變化ガアルカモ知レヌ、其理由ノ下ニ本案ヲ實施シナケレバナラスト言ハレルガ、然ラバ御尋致ス、政府ニ何ノ準備ガアリマスカ、之ヲ實施スルダケノ準備ガ政府ニアリマスカ、過日來本案ヲ御提案ニナラレテ、本會議竝ニ委員會ニ於ケル政府當局ノ御説明ノ狀態ハ如何デアリマス、總理大臣ハ御病氣ノ爲ニ本會議ノ當時、又委員會ノ初ノ頃ノ狀況ハ、直接ニハ御存ジナカッタノデアリマス、併ナガラ流石ハ責任ヲ痛感セラレテ、御病床ニアッテ新聞、速記録、竝ニ政府委員カラ聽カレタリ、色々ト御心配ニナラレタト云フコトヲ、此席上デ御話ニナツタコトヲ、私ハ承知致シマス、デアアルガ其當時ニ於ケル政

府委員ノ議員ノ質問ニ對スル御答辯ト云フモノハ、是ハ支離滅裂、如何ニ不用意デアアルカ、如何ニ不眞面目デアアルカトサヘモ思ハシメルヤウナ狀態デアッタノデアリマス、委員會ニ於ケル質問應答ガ漸ク軌道ニ乗ッタノハ、アナタガ御出席ニナラレテカラノコトデアアル、私共ハ斯ル重大法案ヲ、而モ只今總理自ラ御話ノ如ク、十數年御研究ノ結果、ソレヲ御提案ニナッテ、政府ノ御説明ガ、今總理モ御話ニナツタ通り、之ヲ實施スルノハ陸軍大臣ハ斯ウ、或ハ其他ノ政府委員ハ斯ウト、皆違フ、又此實行ヲ一體如何ナル組織、如何ナル機關ニ依ッテヤルカ、總理大臣モ、陸軍大臣モ、鹽野司法大臣ノ御話モ皆違フ、言換ヘテ見レバ、本案ヲ實行スルト云フ政府ノ其準備ガ、如何ニ孟浪杜撰ナモノデアアルカト云フ證據デアアル、政府ハ何時如何ナル變化ヲ來スカモ知レヌカラ、今日之ヲ議會ニ提案シタノダト言ハレルケレドモ、ソレハ政府ノ口ノ先ノ言葉デアッテ、政府ノ精神ハ其處ニナイ、其準備ハ一ツモ出來テ居ラヌ、如何デアリマスカ、此點、即チ本案實施ニ對スル政府ノ準備ハ、甚ダ缺ケタルモノアリト吾々ニハ見エルノデアリマスガ、其邊ハ如何デアリマスカ

○近衛國務大臣 本案ノ立案ニ當リマシテハ、十分ニ研究調査ヲ遂ゲマシタコトハ、先程モ申述べタヤウナ次第デアリマス、決シテ準備ニ於テ缺クル所ハナイノデアリマス

○小山委員 總理大臣ハ、準備ニ於テ缺クル所ナシト、極メテ簡單ナ御話デアリマス、私ハ事實ヲ捉ヘテ申上ゲテ居リマス、アナタノ御話ト、他ノ閣僚若クハ政府委員ノ御話トハ、種々ナル點ニ於テ矛盾撞著シテ居ルコトハ事實デアアル、速記録ヲ御覽ニナツタラ明瞭ニナル、委員會ニ於テスラモ斯ノ如シト云フコトヲ申上ゲテ居ル、例ヘバ此間ノ所謂實施機關ヲドウスルカト云フコトニ對シテ、近衛サンノ御話ハ、内閣ガ中心トナッテ企畫院ガ主トシテ之ヲ扱フノダ、斯ウ云ツタ意味ノ御話デアッタト思ヒマス、之ニ反シテ陸軍大臣ノ當委員會ニ於ケル御話ヲ伺ヒマスルト、愈々戰時非常ノ場合ニナレバ、軍需省トドモ名付クベキヤウナ大キナ機關ガ必要ダ……是ハ本當デセウ、私失禮デアリマスケレドモ、内閣ガ中心トナリ、企畫院デ此仕事ガ取扱ハレルトハ、吾々ハ一寸想像シ難イ、現在ノ企畫院ノ組織ハソシナ仕事ヲスベキ性質ノモノデハアリマセヌ、又其人的要素モ、準備モ何モアルトハ信ジラレナイ、陸軍大臣ハ、普段ニ於テモ何カ

商工省ノ外局ト云ツクヤウナモノヲ拵ヘル必要ガアルト思フ、斯ウ云ツクヤウナ御説明デアット思ヒマス、是ハ速記録ヲ調べルトハッキリ分リマスガ、大體ニ於テサウ云ツクヤウナ御説明デアット思ヒマス、是ハ平常ノ場合、即チ普段相當ノ準備ガ必要デアルトスレバ、或ハ陸軍大臣ガ説明サレタヤウナ一ツノ機關モ、必要デアルカト想像サレルノデアリマスルガ、是ハ一體トチラガ本當ナノデアリマスガ、私ハ總理大臣ノ言ハレルコトヲ信ズベキダト思ヒマス、ケレドモ、併シ陸軍大臣モ齊シク是レ閣僚デアル、而モ此問題ニ最モ密接ナ關聯ヲ持ッテ居ラレルノハ陸軍デアル、其邊ハ一體トチララ信用シテ宜シイノデアリマスガ、私ハ所謂政府ノ準備ト云フコトニ關聯致シマシテ、是ハ重大ナル點ダト思ヒマス、之ニ對シテノ御答辯ハ、必シモ總理大臣デナクトモ宜シイ

○近衛國務大臣 陸軍大臣カラ御答ヲ申上ゲマシタコトモ矛盾ハナイト思ヒマスガ、尙ホ詳細ノコトハ政府委員ヨリ御答致サセマス

○青木政府委員 先般總理大臣ヨリ御答ニナリマシタ如ク、總動員事務ノ中央官廳ト致シマシテハ、内閣總理大臣ガ其責ニ任ジ、

企畫院ガ各省事務ノ統制總括ニ關スル事務ヲ扱ヒマス、是ガ實施ニ關スル仕事ハ各省官制ノ定ムル所ニ依ッテ、各其責ニ任ジマス、陸軍大臣ノ御話ニナリマシタコトハ、事態ニ依ッテハサウ云フ機構モ考ヘラレル、斯ウ云フ趣旨ノ話デアット思ヒマス

○小山委員 只今總理大臣竝ニ青木政府委員ノ御話ニ依ッテ、大體諒承致シマシタ、惟フニ或ハ其通りデアラウカト想像サレルノデアリマスガ、事態ニ依ッテハ陸軍大臣ノ語ラレテ居ルヤウナコトニナルカモ知レヌ、換言スレバマダ實行機關ヲドウスルカト云フコトニ付テスラ、本當ニ御研究ガナイ、是ハ明ニ本案ヲ今差當ッテ制定シテ置カナケレバナラヌト云フコトニ對スル政府ノ熱意ガ、御話トハ大分違フト云フコトヲ物語ルモノデハナイカト私ハ疑フノデアリマスガ、若シ事態ニ依ッテハ、陸軍大臣ノ語ラレタヤウナ機關ガ必要デアルカモ知レナイト云フコトガ想像サレルナラバ、一體豫算ハドウスルノカ、サウ云フヤウナコト迄想像サレテ居リ、而シテドウシテモ今之ヲヤラナケレバナラヌト云フナラバ、少クトモ政府トシテハサウ云フ點ヲハッキリ決メテ、其機關設置ニ伴フ必要ナル豫算位ハ、御用意アッテ然ルベキデアル、然ルニ其豫算モナイ、又

其機關ガドウナルカト云フコトニ付テモ、洵ニ漠タル御研究ニ止ッテ、吾々ノ疑ヲ解クニ足リナイヤウナ感ジヲ持ツノデアアル、即チ之ヲ此議會ニ提案シテ、直チニ之ヲ實施シナケレバナラヌト云フ政府ノ御説明ハ、洵ニ遺憾デハアリマス、ケレドモ、甚ダ徹底ヲ缺ク、多年ノ御研究ノ結果、是ハ必要ダト云フ其處マデハ私共モ御同感デアリマス、是ハ支那事變ガアラウガ無カラウガ、必要デアルト云フコトハ認メルケレドモ、私共ノ認メル其程度ニ付テハ——此問題ニ關聯シテ、午前中ニ板野君ガ可ナリ詳細ニ御話ニナラレ、私共ノ見ル所ト板野君ノ語ラレタ所トハ、略、其見解ヲ等シウスルノデアリマシテ、即チ國民ヲシテ準備ヲサセ、覺悟ヲセシムルト云フコトニ付テハ、是ハ一日モ取急イデ、ソレニ掛ルガ宜カラウト思フノデアリマス、併ナガラ必要デアアル、必要デアルト言ヒナガラ、政府ノ之ニ對スル準備ノ如何ニモ怠慢ト申シマスガ、用意ノ行届カザル所ニ、吾々國民トシテハ甚シキ不滿ヲ感ズルト云フコトヲ申上ゲテ、是以上ハ議論ニ終ル嫌ガアルト思ヒマスカラ、是ハ此程度ニ止メテ置キマス

私ハ先程本案ヲ此議會ニ提案サレルト云フコトハ、國際關係其他ニ決シテ好イ影響

ヲ及ボサヌト云フコトヲ申上ゲタノデアリマスガ、此點ニ關聯シテ、午前中ニ植原君カラ外務大臣ニ御質問ガアッテ、外務大臣ヨリハ、寧ロ好影響ヲ持ツデアラウト云ツクヤウナ御説明ガアッタノデアリマスガ、此法案ガ今強ヒテ日本ニ必要ダト云フコトニ關シ、外國ハドウ見ルカト云フ點ニ付キマシテハ、私共ハ遺憾ナガラ政府ト其見ル所ヲ異ニシテ、植原君ト同様ノ見解ヲ持ツノデアリマス、ソレハドウ云フコトヲ意味スルカト申セバ、今度ノ事變デ世界ハ寧ロ大和民族ノ熱烈ナル愛國心ニ驚嘆シテ居リマス、第一線ニ於ケル將兵ノアノ忠勇義烈ナル行動ハ固ヨリ、銃後ニ於ケル國民ノ熱烈ナル愛國心ニ對シテモ、私ハ眞ニ世界ハ驚イテ居ルト見テ居ルノデアリマス、其國民性ヲ誤認シタ所ニ今度ノ事變ノ重大ナル原因ガアル、私ハアノ北支デ蘆溝橋ノバチノ事件ガ起ッタ時ニ、アノ蘆溝橋ノ一發ノ銃聲ハ、歐洲大戰ノ原因ヲ成シタ「サライボ」ノ青年ガ射ツ「ピストル」ノ一發ト同ジデアアル、斯様ニ直覺致シマシタガ故ニ、直チニ南京ヘ飛ンデ行ツタ、南京及ビ上海方面ノ情勢ヲ見テ、私ハ總理大臣ノ所ヘ電報ヲ差上ゲタ、此事變ハ不擴大ノ局地解決等ト云フコトデハ、斷ジテ收リマセヌゾ、御參考ニナツタカナラス

カハ知ラヌガ、不幸ニシテ私ガ觀察シタ通
リノヤウナ事態ニ立至ッタノデアル、事茲ニ
至リマシテ、此間此事變ニ對スル國民ノ態
度、第一線ニ於ケル將兵各位ノアノ忠勇義
烈ナル活躍、蒋介石ヲシテ誤認セシメ、中々
日本ノ國內情勢ハ、今日此問題ニ關シテ、
斯ル舉國一致ノ熱烈ナル愛國心ヲ發揮ス
ルト云フヤウナコトハ出來ヌダラウト云
フヤウナコトモ、彼等ヲシテ遂ニ決意セシ
メタ原因ノ大ナルモノノ一ツデアリマス、
即チ此事變ニ關聯致シマシテ、銃後ニ於テ
モ、亦第一線ニ於テモ、國民ノ斯ノ如ク熱
烈ナル所ノ愛國心、是ガ眞ニ日本ノ誇リデ
アリ、此事變ノ齎シタル重大ナ一ツノ戰果
デアアル、私共ハ斯ウ見テ居ル、世界ノ者ハ
之ニ驚イテ居ル、然ルニ今尙ホ彼等ハ長期
抵抗ダト言フ、何ヲ頼ンデ之ヲ言フカト云
ヘバ、聽テ日本ハ財政經濟的ニ行キ詰リ、
國內の混亂ヲ來スデアラウ、今之ヲヤラナ
ケレバナラスト云ツタヤウナコトヲ、彼等ハ
何ト見テ居ルカ、ソラ來タデハナイカ、折
角世界ヲシテ驚嘆セシムルガ如キ此舉國一
致、日本國民ノ特色、ソレヲ疑ハシムルヤ
ウナ惡影響アリト心配致スノデアリマス、
是モ先程申上ゲタガ、本案ヲ此議會ニ審議
シナケレバナラスト云フ政府ノ御辯明、斯

ウ云フコトモ密接ナ關聯ヲ以チマシテ、私
ハ寧ロスウ云フ問題ヲ今ヤラナケレバナラ
スト云フ政府ノ御説明ニナルヤウナ程度ノ
コトナラバ、是ハ外交上、此事變ニ直接ニ
可ナリ大ナル惡影響ヲ及ボス嫌スラアルノ
デアリマス、寧ロ此場合幾多ノ研究問題モ
殘サレテ居ルノデアリマスルカラ、強ヒテ
此機會ニ之ヲ審議スルト云フコトハ、何ト
カ見合セルヤウナ方法ガナイカト云フコト
ヲ密ニ考ヘテ居ル、總理大臣ハ此事變ニ對
シテ、此法案ヲ茲デ審議シナケレバナラス、
而シテ議會トノ間ニ大分見解ノ相違ガアル
ト云フヤウナコトヲ、今ドウ御考ニナッテ居
ルカ、私共ノ憂慮致シマスルコトハ、全ク
無用ノ杞憂デアルト御覽ニナリマスルカ、
如何デアリマスカ、私ハ相當惡影響ヲ及ボ
シハセヌカト云フコトヲ心配ノ至リニ堪ヘ
マセヌ、御見解ヲ伺ヒタイト思ヒマス
○近衛國務大臣 此法案ヲ提出致シマシタ
コトガ、國際間ニドウ云フ影響ヲ及ボスカ、
殊ニ支那側ニ對シテドウ云フ影響ヲ及ボス
カト云フコトハ、外務大臣ガ過日御答ヲ申
上ゲマシタヤウニ私共モ考ヘテ居ルノデア
リマス、勿論此法案ハ極メテ議論ノ多イ法
案デアリマスルコトハ、申ス迄モナイコト
デアリマス、茲ニ議論ヲ盡スコトハ少シモ

差支ナイノデアリマシテ、其爲ニ國際間ニ
惡イ影響ガアルトハ考ヘマセヌ
○小山委員 是モ要スルニ意見ノ相違デア
リマスルカラ、唯私共ハサウ云フ心配ヲ致
スト云フコトヲ申上ゲタニ止ッテ、是以上ハ
要スルニ議論ニナリマスカラ、私ハ成ベク
議論ヲ避ケル意味ニ於テ——決シテ總理大
臣ノ今ノ御答辯ハ私共ノ満足スル、腑ニ落
チタカラ止メルノデアアリマセヌクレドモ
議論ハ差控ヘマス、併シ遺憾ナガラ大分異ッ
タ見解ヲ私共ハ持ッテ居ルト云フコトヲ明ニ
申上ゲテ置キマス、私ハ更ニ進ンデ、此法
案ト現在ノ政情トノ關係ニ付キマシテ、政
府ノ御意見ヲ伺ッテ見タイト思ヒマス、過日
來此法案ハ、動モスレバ議會政府ヲ危殆ナ
ラシメルト云ツタヤウナ意味ニ於テ、屢、質問
者ノ方カラ政府ニ對シテ話ガ繰返サレタ、
議會ガ總動員法案ハ洵ニ必要ナモノデア
ル、其點ニ付テハ政府ト全ク御同感デア
ルト云フニ拘ラズ、何故動モスレバ政府ノ
立場カラスルト、此法案ニ反對デアルカノ如
キ質問應答ガ繰返サレルカ、即チ私共モ此法
案ノ必要デアル、總動員ニ關スル準備計畫ハ
今日直チニ立テナケレバナラスト云フコト
ヲ認メナガラ、可ナリ執拗ニ斯ウシテ質問ヲ
致サナケレバナラスト云フ大ナル理由ハ、

何デアアルカト言ヘバ此點ニ在ル、之ヲ惡用
サレタ場合ニハ、ソレコソ堪ツタモノデア
リマセヌ、即チ國民ノ生命財産、換言スレ
バ生殺與奪ノ權ヲ、此法案ノ下ニ於テハ行
ハントスレバ行ハレル、惡用スレバサウナ
ル、ソコデ是ガ惡用サレル心配アリヤ否ヤ
ト云フ所ガ、議論ノ大キナ問題デアアル、即
チ私ガ此法案ト政治ト云フコトニ付テ、重
大ナル關係ヲ持ツト言フノハ、此點デア
ルソコデ政府ニ御尋致シタイ、今日ノ政情ヲ
近衛首相ハ何ト見テ居ラレルカ、午前中他
ノ委員カラモ御話ガアツタ通り、近衛首相ノ
聲望、私共ハ此點ニ關シテ眞ニ敬意ヲ表シ
テ居ル、近衛總理大臣ニ依ルニアラズン
バ、我國ノ政情ヲ此程度ニ安定セシメルコ
トハ今日困難デアアル、アナタガ内閣ヲ退却
サレタ時ニ、誰ガ其後ヲ承ケテ時局ヲ收拾
スルカ、否國內ヲ安定狀態ニ保チ得ルカト
云フコトヲ考ヘタ時ニ、私共ハアナタニ深
甚ノ敬意ヲ表スル、ダガ其聲望ヲ持ツタ所ノ
近衛内閣ノ下ニ於テノ現代ノ政情ヲ、何ト
御覽ニナル、私ハ遡ッテ彼ノ五・一五事件ヤ二・
二六事件ニ論及シヨウトハ思ハヌ、併シ過
去數年來ノ日本ノ政情ヲ何ト御覽ニナル
カ、是ヨリ類推シタ現在ノ政情ヲ何ト御覽
ニナルカ、昨日モ安部磯雄氏ガ暴漢ニ襲撃

サレタ、衆議院ニ於テハ緊急質問ガ提出サレナケレバナラス、僅カ二週間カ十日以前ニ暴漢ガ政黨本部ニ襲撃ラスル、此帝都ノ眞中ノアナタノ足下ニ於テノ現在ノ政情ヲ何ト御覽ニナルカ、斯ウ言ッテヤウナ情勢ノ下ニ於テ、本案ヲ審議スルト云フ所ニ不安ガアルノデアリマス、而シテ安部氏ガ襲撃サレ、政黨本部ノ占據事件ガ起ツタ、政黨本部ノ占據事件、安部氏ガ襲撃サレタト云フ事件其モノダケヲ切離シテ單獨ニ觀タ時ニハ、是ハソレ程重大ナ政治問題ダトハ思ハナイ、ダガ此背後ニ何等カノ不安ナル空氣ガ漂ッテ居ル、此不安ナ空氣ト云フモノハ、今日率然トシテ起ツタノデハナイ、即チ五・一五事件、一・二六事件、或ハ林内閣ノ出現トナリ、アノ無謀ナル解散トナリ、大命ガ宇垣氏ニ降下シ、宇垣内閣ニ對シテハ絶對ニ反對ダト云フガ如キ運動ガ軍ノ一部ニアツタ、此處ニオ見エニナリマセヌケレドモ、外務大臣廣田弘毅氏ガ大命ヲ拜シテ内閣ヲ組織セントスル時ニ、廣田サンノ意見通りニ内閣ハ作ラレテ居リマスカ、吾々ノ知レル範圍ニ於テハ斷ジテソレハ出來テ居ラス、斯カル情勢ノ下ニ本案ヲ審議スル所ニ不安ガアルノデアリマス、此政情ヲ近衛首相ハ何ト御覽ニナルカ、斯カル政情ガ横行

濶歩シテ居ル——ト言フト言葉ガ少シ強過ギルカモ知レマセヌガ、國民ハ少クトモサウ云フ不安ヲ持ッテ居ル、サウ云フ時代ニ此法案ヲ議會ヲ通過セシメルト云フ所ニ心配ガアル、此心配ハ無理ダト御覽ニナリマスカ、此點ニ關シテ總理ノ——是ハ唯此議場ニ於テ一ツアナタノ立場ヲ言ヒ聞キスル、辯解スルト云フダケデハイケマセヌ、是ハ實ニ重大ナ政治上ノ問題デアル、過日アナタガ病ヲ押シテ御登院ニナラレ、サウシテ此委員會ニ出テ御説明ニナラレタ所ノ態度ニ、吾々ハ深甚ナ敬意ヲ表シテ居ルガ、ドウゾ此處ニ疑惑ノ中心ガアルト云フコトヲ十分ニ御諒承下サイマシテ、現在ノ政情ニ對シテドウ御覽ニナリマスルカ、安定セリトハ言ハレナイダラウト思フノデアリマスカ、之ニ對スル御見解ヲ御伺シタイト思ヒマス

○近衛國務大臣 此數年來ノ我國ノ政治上、社會上其他ノ世相ニ付キマシテハ、私モ深く之ヲ憂ヘテ居ル一人デアリマス、殊ニ或ハ議會ヲ無視スル、或ハ憲法ヲ蹂躪スルト云フガ如キ思想ガ一部ニゴザイマスコトモ、此世相ヲシテ一層險惡ナラシメル一ツノ原因デアリマス、斯ノ如キ思想ニ對シテハ當局ト致シマシテハ、治安ノ維持ノ上カラ

申シマシテモ、十分ニ之ヲ取締ラナケレバナラスト同時ニ、又積極的ニ更ニ之ヲ指導シ、善導スル必要ヲ痛切ニ感ジテ居ル次第デゴザイマス、サウ云フ際ニ當ツテ、斯ノ如キ法案ヲ出スト云フコトハ、サウ云フ風潮ニ一層拍車ヲ掛ケルノデハナイカト云フ御不安ガ、方々ニアルヤニ思フノデアリマスガ、其御不安ハ一應御尤デアリマス、併ナガラ先日モ此處デ申上ゲマシタヤウニ、此法案ハ斯ノ如キ一時ノ風潮ニ基イテ、率然トシテ茲ニ提案シタモノデハナイノデアリマス、先程申上ゲマシタヤウニ、十數年來ノ研究ノ結果、各國ノ制度等ヲ深ク調査研究致シマシタ上ニ、此成案ヲ得マシテ、茲ニ提出シタヤウナ次第デアリマス、其内容ニ於キマシテモ、出來ルダケ斯ノ如キ不安ヲ少カラシムルコトニ最モ注意ヲ拂ツテ、諮問ノ審議會ノ如キモ、貴衆兩院議員、民間ノ有力者等ヲ中ニ入レマシテ、成ベク國民ヲシテ斯ノ如キ不安ヲ此法案ニ對シテ懷カセナイヤウニ努メタ次第デアリマス

○山崎委員 只今ノ質問應答ニ關聯シテ、簡單ニ御尋シタイト思ヒマス、御許ヲ願ヒマス

○宮脇委員長代理 山崎君

○山崎委員 今發言ノ御許シヲ願ヒマシタ

ケレドモ、各派ノ申合セガアルサウデアリマスカラ、小山代議士ノ質問ガ終リマシタラ、關聯シテ御許シ下サルヤウニ御願シテ置キマス

○宮脇委員長代理 宜シウゴザイマス

○小山委員 今總理ノ御答辯ハ私共ガ現在ノ政情ト本法ト相關聯シテ考察シタ時ニ、洵ニ心配ニ堪ヘヌモノガアル其心持ハ尤千萬ダト云ツタヤウナ御話デアリマス、私ハ近衛内閣トシテハ、此法案ハ是等ノ時代ノ趨勢ガ當然要求スル已ムヲ得ザル法案デアリマシテ、マサカ之ヲ惡用スル者アリト云ツタヤウナコトハ、政府トシテ御想像ナサレスト思ヒマス、政府トシテ惡用スル者ガアルナドト云フコトヲ考ヘレバ、コンナ法案ハ勿論出スコトハ出來マセヌ、ダカラ之ヲ惡用スル者アリト云ツタヤウナコトヲ想像シテ居ラレスト云フコトハ、是ハモウ質問スルマデモナク、政府トシテハ當然ノ御考デアリマスガ、併シ吾々國民ノ立場カラ申シマスルト、只今總理モ御認メニナツタ如ク、我國ノ一部ニハ議會政治ノ否認ト云ツタヤウナコトスラ考ヘテ居ルヤウナ人達モ少カラズアル、事實共通りデアリマス、而モ吾々ガ心配スルノハ、國民ノ一部ニサウ云ツタヤウナコトヲ考ヘテ居ル者ガアルト云フ、

ソナ單純ナモノデハナイ、現ニ大命ヲ拜シテ内閣ヲ組織シタ林内閣ノ如キ、ソレデハナイカ知ラヌト云フ疑スラアル、即チ我國ノ政治ノ動キニ於テ、事實ニ於テサウ云ツタヤウナ心配ラシナケレバナラヌヤウナ場合スラモアッタノデアリマス、今後無イト云フ保證ヲドウシテセラレマスカ、昨日此委員會ニ、陸軍ノ説明員トシテ佐藤中佐ガ出テ來ラレ、色々本案ニ對スル御説明ガアッタノデアリマスルガ、其際ニ佐藤中佐ハ斯ウ云ツタ意味ノ御話ガアリマシタ、例ヘバアノ大正十二年ノ震災ノヤウナコトガ假ニ起ッタシタラ、即チ戰時其他非常ノ場合ニ、斯ル事態ガ國內ニ起ルコトアリト云フヤウナコトヲ想像シタナラバ、國民ノ頼ム所ノモノハ行政府ヲ議會ヤ何カデハナイ、力デアル、故ニ總動員法案ヲ必要トスルンダト、言葉ハ此通りデハアリマセヌガ、サウ云ツタヤウナ意味ノ御話ガアッタノデアリマス、是ハ或ル程度マデ眞理デセウガ、ソナナコトハ私共ハ想像シタクナイ、アノ大震災當時ノヤウナコトハ、是ハ想像スルコトスラモ實ハ不祥ノコトデアルト思ヒマスケレドモ、併シ是ハマア假定ノ上ノ御話デアリマスルカラ、敢テ之ヲ咎メヨウトハ言ハナイ、併シ假ニ戰時非常ノ場合ヲ考ヘルト云フト、國民ノ

頼ム所ノモノハ力ダ、行政府ヲ議會何カアラント云ツタヤウナ其考ヘ方、私共ノ恐ロシイノハソレナンデアル、吾々心配ヲ致シマスノハ若シ此「イデオロギー」ヲ以テ、之ヲ惡用スルト云ツタヤウナ「イデオロギー」ノ持主ガ出テ、戰時非常ノヤウナ場合ニ之ヲ實施シタト假定致シマスレバ、實ニ危險千萬デアル、是ハ外ノ人ガ言ッタノデアアリマセヌ、政府ノ説明員ノ話ナンデアル、惟フニ是ト大同小異ノヤウナ「イデオロギー」ト申シマスルカ、考ヘ方ヲ持ッテ居ラレル方ガ、我國軍部ノ一部ニハ尙ホ依然トシテアルト私共ハ信ズル、今日此問題ト相關聯致シマシテ本案ニ現レタ場合、所謂是ハ廣義國防ト申シマスカ、廣義國防ト云フ今日ノ國防問題ト致シマシテハ、政治ノ有ユルモノニ關聯ヲ致シテ來ルコトハ、是ハ當然デアリマス、ソコデ廣義國防ト云フコトト、狹義ノ國防本來ノ任務ト云フコトトノ限界線ハ、一體何處ニアルカ、本案ノヤウナモノヲ審議スル時ニ、私共ハ國防ト云フモノノ本來ノ任務其モノハ、一體何處ニアルカト云フコトスラモ疑ハザルヲ得ヌヤウナ氣持ガ致スノデアリマス、是ハ何レ陸軍大臣ガ御見エニナリマシタナラバ、陸軍大臣ニ其點ヲ御尋致シタイト思フノデアリマスルガ、只今總理

大臣ニ吾々ハ斯ウ云ツタヤウナ心配マデシナケレバナラヌト云フコトダケ御耳ニ入レテ置キマス、日本革新黨青年有志ノ「黨奸ヲ討ツノ檄」ト云フ「ビラ」ガ巷間ニ撒布サレテ居リマスガ、是ハ惟フニ總理大臣ハ御存ジデアリマスマイ、黨奸ヲ討ツノ檄ナリト書イテアル、「一國家總動員法ニヨリテ全國民ノ永久武裝ハ成ル」、「二戰爭ノ勝利ト國民生活ノ安定ハ總動員法ニヨリテ確立ス」、「三皇國飛躍ノ國民的大行進、コノ鐵蹄下ニ現狀維持派ヲ蹴散ラセ」、「此日本革新黨青年有志會ト云フノハ如何ナルモノデアルカ私存ジマセヌ、存ジマセヌガ偶、此檄ニ現レタルガ如キ思想ノ持主ハ、私ハ隨分我國ノ「イシテリ」層ノ間ニ、又社會各方面ニ深く喰入ッテ、サウ云ツタヤウナコトヲ考ヘテ居ル人ハ少クナイト思フ、即チ今總理大臣モサウ云ツタヤウナ思想ノ持主ガ少カラズアルト云フコトヲ御認ニナツタ、吾々ガ心配スルノモ無理カラヌコトデアルト云ツタヤウナ御話デアッタノデアリマス、私ハ斯ノ如キ心配ラシナケレバナラヌト云フ時ニ、政府ハ——近衛サンハソナナコトハ決シテ考ヘテ居ラヌト云フコトハ、萬々信用致シマスケレドモ、之ヲ惡用スル者ガ出テ來ナイト云フ保證ハ出來ヌト思フ、先程申シタ通り、

現ニ隨分サウ云ツタヤウナ心配ヲサレルヤウナ内閣ガ出現シタコトスラモアル、シテ見レバ今後サウ云ツタヤウナ時代ヲ、斷ジテ出現シナイト云フ保證ハ出來ヌト、斯様ニ心配スルノデアリマス、諄イヤウデアリマスルガ、是ガ本案ヲ繞ル吾々ノ一番重大ナ疑惑デアリ、又心配ヲ致ス所ノ中心問題デアリマス、其保證ヲ爲シ得ルヤ否ヤ、私ガ特ニ近衛サンノ出席ヲ要求シタノハコ、ナシデアアル、私惟フニ近衛内閣ハ永久ノモノデハアリマセヌ、併ナガラ我國ノ政治ヲ動かス中心ハアナタダト、斯様ニ見ル、今後ドンナ内閣ガ出來ルカ知レマセヌ、ドンナ變化ガ生ズルカ知レマセヌ、ダガ少クトモ政治ノ動キノ中心勢力トシテ、アナタノ存在ハコ、近キ將來ハ、極メテ重大ナル立場ニ立タレル人ダト云フコトヲ私ハ信ズル、ソコデ此質問ヲスルノニハ、ドウシテモ此點ヲアナタカラ言明ヲ戴キタイ、近衛サンハ今私ノ心配ニ對シテ、サウ云ツタヤウナコトモ絶無デハナイト言ッテ、アナタモ御心配ナサレル、今後只今申上ゲタヤウナ、私共ガ心配スルヤウナ政府ハ、アナタガ眼ノ黒イ間ハサウ云ツタヤウナ内閣ハ出テ來ヌト云フコトヲ保證シ得ルヤ否ヤ、諄イヤウデアリマスルガ、御言明ヲ得タイト思ヒマス

○近衛國務大臣 只今御話デゴザイマシタガ、過去ニ於テモ憲法ヲ無視シ、或ハ議會ヲ否認スルガ如キ考ヲ持ッテ居ル方ガ内閣ヲ組織シタト云フヤウナコトハナイト考ヘマス、將來モ亦我ガ憲法ノ存スル限り、斯ノ如キコトハナイト確信致シマス

○小山委員 憲法ヲ否認スルヤウナ内閣ハ、是マデモナカッタ、又將來モナイ、洵ニ明瞭ナ御言明ヲアナタカラ得タト云フコトハ、私共ニ非常ナ安心ヲ與ヘタ、私ハ斯クアラネバナラスト思ヒマス、併シ過去ニ於テナカッタ、憲法政治ヲ否認スルヤウナ内閣ハ無論アラウ筈ハアリマセヌガ、サウ云ッタヤウナ疑ヲ國民ヲシテ懷カシムルヤウナ嫌ヒノアツタコトハ、是ハ爭ヘナイ、私ハ此點ニ關シテハ只今總理ノ御言明デ満足シテ、是レ以上問ハヌノデアリマス

更ニ此法案ニ關聯致シマシテ、政府ノ此法案ヲ制定サル、ニ至リシ思想ノ上ニ矛盾ガアリハシナイカ、斯ウ云ッタヤウナ疑惑ヲ懷クノデアリマス、ソレハドウ云フ點デアアルカト申シマスレバ、近衛サンハ私共ノ知レル限りニ於テハ、所謂國體明徴論者デ、日本精神主義者デアリマス、即チ今日ノ時代思潮ノ指導ノ立場ニ居ラレト申シテモ宜シイカト承知シテ居ルノデアリマス、所

ガ此法案ハ法律ヲ以テ國民ヲ縛リ上ゲ、戰時非常ノ場合ニ政府ノ意向通りニ人的、物的、有ユル資源ヲ動員シヨウ、換言スレバ唯物史觀の思想的根據カラ出發シタ法律ナノデアリマス、私共ノ大ナル遺憾ヲ感ズルノハ此點デアリマス、此點ニ關シテハ既ニ多數ノ同僚諸君カラ、言葉ハ異ッテ居リマスルケレドモ、思想的ニ、即チ見方ニ依ッテハ同一ノ觀點カラ可ナリ詳細ニ議論ヲ繰返サレテ居リマスカラ、私ハサウ多クハ申上ゲマセヌ、ケレドモ唯物史觀のノ見方、是ハ獨逸ヤ伊太利ニ於テハ絕對必要デアリマセウ、併シ日本ニ於テハ民族性ガ違ヒ、國體ガ違フ、是ガ吾々大和民族ノ誇デアリ、日本國體ノ特異性デアルト信ジテ居ルノデアリマスルガ、其日本民族ニ對シ、此國體ノ下ニ於テ獨逸ヤ伊太利ノ眞似ヲシナケレバナナイト云フノハ何處カラ來タノカ、即チ法律ヲ以テ國民ヲ縛リ上ゲ、サウシテ人的、物的資源ヲ動員スレバ、ソレデ足レリト云フ考ヘ方ハ唯物史觀ダ、斯ウ云フコトラスルコトニ依ッテ、精神的ノ損失ハ果シテ如何デアリマセウカ、之ニ依ッテ得タル物質的ノ總動員ノ力ヨリハ、爲ニ失フ所ノ國民ノ精神的協力、精神的矜持ノ方ガ幾ラ大キイカ分ラヌ、私共ハ斯様ニ心配スルノデアリマ

ス、ソコデ此日本主義、特殊ノ憲法ト云ッタヤウナコトヲ信ジテ居ラレル近衛サンノ信念ト、唯物史觀の見地カラ出發シタ、即チ法律ヲ以テ國民ヲ縛リ上ゲナケレバ總動員ノ役ニ立タナイト云ッタヤウナ見方トハ、根本的ニソコニ思想的ノ矛盾ガアル、斯様ニ吾々ニハ見得ルノデアリマス、其邊ハ如何デアリマセウ、若シ私共ノ見方ニシテ過ナシトスルナラバ、其何レヲ採ラレルカ、法律ヲ以テ縛リ上ゲルト云フ獨逸ヤ伊太利ノ眞似ヲスルト云フヤウナヤリ方ヨリモ、アナタガ會テ所謂國民精神總動員ノ演說會ニ於テ、日比谷公會堂デ御演說ヲサレタ其趣旨ニ則ッテ、所謂日本國民ノ民族性ニ御信賴ナサレルト云フヤリ方ヲ採ラレルト云フ方ガ寧ロ效果的デハナイカ、斯様ニ思フノデアリマスルガ、其邊ハ如何ナモノデアリマセウ、私ハ參考ノ爲ニアナタノ御演說ノ一部ヲアナタノ御記憶ヲ喚起スル爲ニ此處ニ持ッテ參リマシタ、朗讀ヲ許シテ貰ヒタイ、「國家ハ一ツノ文化的使命ヲ有スル共同目的體デアアル、國民ハ自己ノ利益ヲ追求スル唯物的存在ニアラズシテ、民族國家ノ組織ヲ通ジテ人類ニ寄與セントスル精神的存在デアアル、斯ノ如キハ西歐ノ唯物的文化ニ懺ラザル人達ノ間ニ澎湃トシテ湧キ起ッテ居

ル所ノ新シイ要求デアアル」即チ日本ニハ斯ウ云フ精神的ノ要素ガアルケレドモ、西洋ニハコンナモノハナイノダ、ソコデ彼等ノ間ニハ盛大要求ガ起ッテ居ルト云フ前提ヲ置カレテ「然ルニ此要求ハ萬世一系ノ皇室ヲ中心トスル我ガ日本ノ國家組織ニ於テハ先天的ニ具現セラレテ居リ、吾々ガ國家ニ對スル自覺ノ深マルト共ニ、ソコニ國家總動員ハ強制ヲ俟タズシテ自ラ出來ルノデアアル」強制ヲ俟タズシテ自ラ出來ルノデアアル、日本ニハ先天的ニ具ッテ居ルノダ、是ガアナタノ日比谷公會堂ニ於ケル演說ノ一節デアアル、吾々ハ之ヲ信ズル、日本國民ハ之ヲ以テ誇トシテ居ル、是ガ今日所謂銃後ノ美談トナリ、第一線ニ於ケル眞ニ世界ヲ震撼セシムルガ如キ皇軍將兵ノ活動トナッテ現ハレテ來テ居ル、此民族性、アナタガ十分ニ述べタ所ノ此民族性ニ對シテ、法律ヲ以テ縛リ上ゲナケレバ總動員ガ出來スト云フ、私ハ茲ニ此總動員條令ハ無用ダト言フノデアアリマセヌヨ、準備訓練ガ必要デアルト云フコトハ萬々認メマスケレドモ、此民族性ノ矜持ヲ傷ケルガ如キ法律ハ、是ハ失フ所却ッテ大ナルモノガアルノデアナイカ、過日來此法案ニ掲ゲラレタ所謂國民ノ自由、權利、財産等ノ拘束ハ非常時大權デモヤレルノダ

ト云フ此點ニ付テハ色々論議ガ重ネラレタ
ノデアリマス、其何レガ宜イト云フコトハ
私ニハ分ラヌ、私ハ憲法ノコトハ分ラヌ、ダ
ガ我國ノ憲法ニハ斯ウ云フヤウナ途ガ開カ
レテアルトスルナラバ、此民族性ノ特色
デアル矜持ヲ傷ケルガ如キコトハ私ハ止メ
タガ宜イト思フ、私ハ斯様ニ考ヘル、近衛
サン御自身ガ十分ニ御認識ニナッテ居ル民
族性ト云フ所ニ重點ヲ置イテ、サウシテ此
法案ト云フモノト照合セテ考ヘマスト云フ
ト、過日來此委員會ニ於テ委員各位カラ述
ベラレタ如ク、即チ之ヲ豫メ法律ヲ以テ強
制スルト云フヤウナコトハ寧ロ效果のニド
ウカト疑ハレル、此點ニ關シテ總理大臣ノ
御高見ヲ承リタイト思ヒマス

〔宮脇委員長代理退席、委員長著席〕

○近衛國務大臣 我國ノ萬國ニ比類ナキ此
國民性ニ照シテ之ヲ考ヘル時ニ、本法案ノ
如キハ必要ガナイデハナイカ、此法案ハ其
根本ニ於テ唯物的ノモノデアルト云フヤウ
ナ御考ノヤウニ拜承致シマシタ、勿論我國
ノ國民性ト致シマシテ 皇室ヲ中心トシテ舉
國一致、一朝有事ノ際ニハ身命ヲ君國ニ捧
ゲルト云フコトハ世界ニ類ノナイコトデア
リマス、斯ノ如キ國民性ガアルト云フコト
ハ、戰時ニ於テ物的の並ニ精神の兩方面ニ於

ケル總動員ヲ行フ上ニ於テ之ヲ極メテ容易
ナラシムルニ役立ツコトハ勿論デアリマス、
總動員ハ國民ノ自發的協力ガアッテ初メテ
之ヲ實行、實施スルコトガ出來ルノデアリ
マスルガ故ニ、忠君愛國舉國一致ノ此國
民性ヲ以テ事ニ當リマシタナラバ、此國民
的協力ヲ容易ナラシムルコトハ勿論デア
ルト思フノデアリマス、併ナガラ今日ノ時代
ニ於キマシテハ、唯單ニ國民ノ自發的協力
ノミニ依ルコトハ出來ナイノデアリマス、
今日ノ國民ノ經濟生活、國民生活ト云フモ
ノハ極メテ複雑ナルモノデアリマス、之ヲ
自由ニ放任致シマスル時ニハ、戰時ノ如キ
場合ニ於キマシテ色々齟齬ヲ來シマス、
隨テ戰時ニ於キマシテハ相當強大ナル統制
ヲ加ヘル必要ガ起ッテ來ルノデアリマス、故
ニ精神のノ方面ニ於ケル協力ニ期待致スト
同時ニ、此人的物的資源ヲ總動員シテ國家
ノ最大能力ヲ發揮スルト云フ此場面ヲ現出
シマスル爲ニハ、ドウシテモ單ナル精神的
協力ノミデハ足りマセヌ、一步ヲ進メマシ
テ經濟生活ニ對シテモ或ル程度ノ統制ヲ必
要トスル、斯ウ考ヘルノデアリマス、其間
ニハ矛盾ハナイト存ジマス

○小山委員 只今ノ總理大臣ノ御話ハ私ハ
洵ニ苦シイ御話ダト思フノデアリマス、
只今私ガアナタノ演說ノ一端ヲ朗讀致シマ
シタ通り、アナタハ大和民族性ヲ十分ニ御
認識ニナラレテ、而モ西洋デハ此日本民族
性ノ眞似ヲシナケレバナラスト云ッテ、國家
組織、或ハ總動員組織モアナタノ御言葉ノ
中ニハ含ンデ居ラレル、彼等ハ之ヲ要求シ
テ居ルト云フ所マデアアナタハ御認メニナッ
テ居ラレル、ソレハ其通りデアアル、吾々モ
左様ニ信ズル、又是ハ私ガ度々申上ゲタ通
リ日本國民ノ矜デアリマス、之ヲ法律ヲ以
テ縛上ゲナケレバナラスト云ッテヤウナコ
トヲスルト云フト、是ハ人間ト云フモノノ
其民族的、人格的矜持ヲ法律デ強制シヨウ
ト云フ所ニ却テ精神のノ損失アリト、斯様ニ
私ハ申シタノデアリマス、併シ是アルガ故ニ
法律ノ必要ガナイ、固ヨリ此點ハ御話ノ通り
デアリマス、現ニ今日此支那事變ニ對シテ各
種ノ法案ヲ政府ガ御提案ニナリ、吾々モ御
協賛申上ゲテ居ル、デアリマスルガ、是ハモウ
過日來私共ノ同僚、他ノ議員諸君カラ屢、言
ヒ古サレタコトデアッテ、私ハ之ヲ繰返シテ
居ルニ過ギマセヌカラ、私ハ是以上ハ申上
ゲマセヌ、唯近衛サンハ吾々ト全ク同様ノ
御見解ヲ持チ、同様ニ所謂大和民族性ト云フ
モノヲ御認メニナッテ居リナガラ、「ナチス」
ヤ「ファシヨ」ノ眞似ヲシテ、此法案ヲ御

提案ニナラナケレバナラスト云フ立場ニ立
タレタ所ニ、只今ノヤウナ洵ニ御苦シイ御
答辯ヲサレナケレバナラスト云フ事態ニ立
タサレタト云フコトハ萬々御察シ申上ゲマ
ス、ダガソレニ依ッテ吾々大和民族トシテノ
此矜持ヲ斷ジテ解消スル譯ニハ參リマセヌ、
言換ヘレバ斯ウ云フ法律ニ依ッテ國民ノ自
由、權利、財産ヲ縛上ゲナケレバナラスト
云フヤウナコトハ、是ハ餘程考慮スル必要
ガアル、斯ウ云フヤウナ見解ニ付テハ、遺
憾ナガラ只今ノ總理大臣ノ御答辯ニ依ッテ
ハ私共ハ十分ナ諒解ガ出來ナイノデアリマ
ス、此事ヲ申上ゲテ置キマス

私ハ最後ニ唯一言近衛サンノ總理大臣ト
シテ御考ヲ伺ッテ私ノ質問ハ終リタイト思ヒ
マス、過日來憲法問題ヲ繞リマシテ、政府ト
吾々議員トノ間ニ質問應答ガ重ネラレマシテ、
其結果斯ウ云フコトダケ明瞭ニナッタ、此處ニ
鹽野司法大臣モ御見エニナリマスルガ、是ハ
慥カ鹽野國務大臣ノ御話デアッタト思ヒマス、
又其他ノ方カラモ大同小異ノ御話ガアッタト
記憶致シマスガ、吾々議員側ノ難點ト申シ
マスカ、疑問ト致シマス點ハ餘リニ勅令事
項ガ多過ギル、餘リニ廣範圍ニ互リ過ギテ居
ルト云ッテヤウナ點ニ對シテ、政府ト致シマ
シテハ多數勅令ニ讓ッテアルケレドモ、此多

數ノ勅令ノ中デ、或モノハ直チニ勅令ヲ公布シテ國民ニ知ラシメルコトガ出來ルモノモアル、中ニハ軍機其他ノ關係カラ其時ニナラヌト云フト間ニ合ハヌモノモアル、斯様ナ御説明デアリマス、是ハ鹽野法相ガ言明サレタ言葉ハ違フカモ知レマセヌガ、意味合ハ其通りデアリマス、又惟フニ其通りデアラウト思ヒマス、法案ノ性質上今之ヲ具體的ニ公表スルコトハ出來ヌ、或ハ今直チニ準備スルコトノ出來ヌモノモアリマセウ、サウデアルトスレバ是ハ總理大臣トシテ御言明ヲ願ヒタイ、今國民ニ之ヲ勅令トシテ公布スルコトノ出來ルモノモ相當ニアラウト思ヒマス、惟フニ他ノ機會ニ於テ私共ノ同僚カラ是等ノ點ニ付テ質問ガ出ルカト思ヒマスガ、斯ウ云フ公表ノ出來ルモノハ成ベク之ヲ公表スル、法律ノ上ニ規定スルト云フ其手續ヲ取ラレタラ如何デアリマスカ、勅令ニ掲ゲテ國民ニ之ヲ知ラシメルト云フノデアアルナラバ、サウ云ッタヤウナコトハ勅令ニ讓ラナクテ、寧ロ之ヲ法律ニシテ議會ニ協賛ヲ求メルト云フコトガ正當ナノデアリマス、サウ云フモノモ多數ニアル、是ハ政府自ラ其事ヲ御認メニナッテ居ラレマス、若シサウダトスレバ、是モ此法案ノ形式カラ申シマスルト、全部勅令ニ委ネテ

アルノデアリマスルガ、之ヲ寧ロ法律ト云フ形デ御出シニナラレタ方ガ此案ヲ審議スルノニ餘程シ易クナルト私ハ斯様ニ信ズルノデアリマス、之ニ對シテ總理大臣ハナント御考ヘニナルカ、私ハ議論ヲスル積リデ、今此處ニ立ッテ居ルノデアリマセヌ、色々御尋シタイコトモアリマスケレドモ、私ハ此程度デ私ノ質問ヲ打切りマスガ、唯政府ハ今御尋致シマシタ點ヲ御考慮ニナラレルヤ否ヤ、是ダケヲ御明答ヲ御願致シマス

○近衛國務大臣 只今ノ御尋ニ對シマシテハ代ッテ司法大臣ヨリ御答致シマス

○小山委員 司法大臣ノ御意見ハモウ既ニ私共ハ伺ヒ盡シテ居ル、斯ウ云フコトヲ繰返シノヤッテモ何ノ意義モアリマセヌ、司法大臣ハ近衛内閣ノ閣僚トシテ、即チ國務大臣トシテノ御話デアリマスカラ、近衛サンカラ伺ッテモ、司法大臣カラ伺ッテモ大シタ相違ハナカラウト思ヒマスガ、先程申上ゲタ通り、此法案ヲ繞ッテ過日來閣僚ト政府委員ノ御答辯ニハ屢、喰違ガアル、屢、人ニ依ッテ其御答辯ハ變ッテ來テ居ル、ソコデ私ハ特ニ總理大臣ニ御尋致シマシタノハ、是ハ國務大臣ト云フノ總理大臣ト云フノト、ドレダケノ相違ガアルカ知レマセヌケレドモ、少クトモアナタガ内閣ヲ統督シテ居ラレル、

其御立場ノ近衛首相カラ、其通り考慮シヨウ、或ハ考慮ノ餘地ハナイ、私ハ議論スルノデヤアリマセヌ、是ハ斯クサレタ方ガ當然ダト私共ハ思フ、勅令デ公表スルト云フノダカラ公表ノ出來ルモノナラバサウ云フヤウナ廻リ諄イ形式ヲ執ラレナイデ、法律トシテ議會ニ御提案ニナラレルコトガ、是ハ政府トシテ當然ノ執ルベキ穩當ナル手段デアル、斯様ニ考ヘルノデアリマス、既ニ國務大臣鹽野法相ノ御意見ハ私共ハ伺ヒ盡シテ居ルノデアリマスカラ、特ニ繰返シテ近衛サンノ御答辯ヲ簡單デ宜シイガ、要求スル所以デアリマス

○近衛國務大臣 此問題ニ付キマシテハ過日私モ此處デ申上ゲマシタ、大體司法大臣ノ從來此議場ニ於キマシテ御説明ヲ申上ゲマシタコトト同様デアリマス、即チ法律ニ於テ具體的ニ之ヲ明示スルト云フコトハ不可能デアリマス、其點ニ付キマシテハ考慮ノ餘地ハゴザイマセヌ

○小山委員 私ハ先程申上ゲマシタ通り、私ノ質問ハ是デ打切ルノデアリマス、今又斯ウシテ再ビ立タウトハ思ハナカッタノデアリマスルガ、只今總理ノ法律ヲ以テ明示スルコトハ不可能ダト云フコトハ少シ違ヒハシナイカと思フノデ、モウ一度其點

ヲ明カニシテ置キタイト思ヒマス、勅令ニ明示シテモ宜シイ、是ハ今近衛サンガ司法大臣ノ答辯ト同ジダト言ハレタ、司法大臣ノ御話ハ明示スルコトノ出來ルモノモアル、出來ヌモノモアル、吾々モ其出來ヌモノモアルト云フコトハ、是ハ認メルノデアリマス、御尤ダト思フノデアリマス、併ナガラ出來ルモノモアルト云フコト、而モソレハ相當多數アルト云フコトヲ吾々ハ信ズル、ソコデ其勅令ニ明示スルコトノ出來ルモノダケナリトモ之ヲ法律ト云フ形ニ直シテ御提案ニナラレタラ如何カト云フコトヲ御尋シテ居ルノデス、不可能ダト云フコトニナルト、是ハ大分司法大臣ノ話トハ違ヒマス、不可能ダト云フコトハ鹽野法相スラモ言ウテハ居ラレス、ソレハ何カ間違ヂヤナイカト思ヒマス、是ハ間違ヂアレバ間違ト——サウシタクナイノダト云フ意味ニ於テノ不可能ト云フノデアアルカ、其點ヲモウ一度ハッキリ御答願ヒタイト思ヒマス

○鹽野國務大臣 只今小山君ノ御質問ノ中ニ、前回私カラ答辯ヲ致シマシタ言葉ノ中ニ、勅令ノ内容ニ付テハ示スコトノ出來ルモノモアル、出來ナイモノモアルト云フ趣意ノ答辯ガアッタト云フコトカラ、示スコトノ出來ルモノニ付テハ規定シテハドウカト

云フ御質問ニナッテ居リマスガ、私が其時申述ベマシタ點ハ、戰時ニ於ケル狀態ヲ只今カラ推測シテ想像シ得ル部分モアル、ソレニ付テハ要綱トシテ御示シガ出來ヤウト云フ御話ヲシタノデアリマス、併ナガラ戰時ノ事態ハ千變萬化、果シテ何ガ必要ニナルカ、實ハ豫測スベカラザルモノガ多イト考ヘラレル、隨テ之ヲ二三ノモノヲ想定致シマシテ法文ノ中ニ入レマシテモ、其分ラザル部分マデモ法文ノ中ニ入レナケレバ相成ラスコトニナリマシテ、結局法文ノ内容ハ此命令ニ讓ルト云フ程度ノ漠タルモノヨリ外書ケナイコトニナルノデアリマスカラ、只今總理ノ言ハレマシタヤウニ、事實此處ニ書クコトハ不可能デアルト言ハレ

ルコトハ相當ト考ヘマス

○小山委員 只今總理大臣並ニ鹽野法相ノ御答辯ニ付テハ、私甚ダ諒解ニ苦シム點ガ多イノデアリマス、併シ是ハ私が今日御尋シタイト思ウタ主要ナル眼點デハナイノミナラズ、過日來既ニ多數ノ諸君カラ御話ニナラレタ、ソレヲ附帶的ニ若シ此處デ御考慮ヲ願ヘレバト思ウタ序ノ質問デアリマス、私ハ是以上此點ニ付テハ申上ゲマセヌ、私ノ質問ハ之ヲ以テ終了致シマス

○山崎委員 議事進行ニ關シテ……、今本

會議ガアルサウデスカラ一寸休憩シタイト思ヒマス

○西岡委員 今本會議ノ方デハ、聞ク所ニ依リマスレバ、內務大臣ト鐵道大臣ノ出席ヲ要求シテヤッテ居ルサウデアリマス、總理大臣ハ此處ニ御留マリガ願ヘルヲシウゴザイマスカラ、此委員會ヲ續行セラレンコトヲ望ミマス

○小川委員長 宜シウゴザイマスカ——ソレデハ豐田君

○豐田委員 言葉尻ヲ捉ヘテ申上ゲル譯デハアリマセスガ、只今ノ近衛總理大臣ノ御言葉ハ、吾々ノ考ヘテ居ル第一番ノ「ポイント」デ、ソレガ吾々ノ豫期ニ反スルト云フコトニナリマス、是ハ非常ナル重大問題トナルト思ヒマス、大體今更繰返ス迄モアリマセスガ、政府ヨリ御渡シ下サツ所ノ法律案以外ニ、要綱ナルモノヲ渡シテ戴キマシタケレドモ、依然トシテ是レ茫漠トシテ殆ド掴ミ得ナイノデアリマス、斯ウ云フ事態デアアルカラシテ、吾々ハ法律ニ明記スルコトニ依ッテ、一般國民ニ諒解ヲ與ヘテ貰ヒタイ、ソコニ吾々ノ論點ガアルノデアリマシテ、何等外ニ他意ハナイノデアリマス、政府ガ本案ヲ提出スルニ當リマシテ、初メカラ法律ニ明記シテ、十分ニ國民ノ納得ノ

行クヤウニ戰時對處ノ心構ヘヲサセテ置クト云フ態度ニ御出ニナツタラバ、吾々トシテハ世界ノ情勢、殊ニ日支ノ事件ニ鑑ミマシテ、左程ノ論議ヲ用ヒズシテ必ズヤ本案ハ成立スルモノデアッタラウト思フ、所ガ繰返ス迄モナク、風呂敷ニ包ンダ儘之ヲ承認シロト云フノデアアルカラ、難シイノデアリマス、私ハ政府カラ渡サレマシタ外國ノ立法例ナドモ可ナリニ讀ンデ見マシタガ、「フアッショ」

國家ヲ除キマシテハ、大體下ノ國モ皆國民ニ諒解ヲ與ヘルト云フ所ニ力ヲ入レテ居ルコトハ、爭ヘナイ事實デアリマス、唯茲ニ考ヘラレマスコトハ、「フアッショ」國家ヲ除イタ英佛米、是等ノ立法例ヲ讀ンデ見マスト、成程相當廣汎ナル授權法ヲ定メテ居ル所モアリマス、例ヘバ英吉利ノ如キハ千九百十五年三月十六日、ソレカラ千九百十六年ノ十二月二十二日ニ改正ヲシタ所謂國防法、此國防法ニ依ッテ見マシテモ、廣汎ナル戰時ノ對策ハ擧ゲテ之ヲ國王ニ一任致シテ居リマス、斯ウナルト君主獨裁ノヤウニ見エマスルケレドモ、其內容ヲ調べテ見ルト、國王ハ其權利ハ委任サレタケレドモ、單獨ニ之ヲ行フノデハナイ、條件ガ附イテ居ル、必ズ樞密院ノ議ヲ經ベシト規定サレテ居リマス、然ラバ其樞密院トハ日本ノ樞密院

ト同様ナモノカト考ヘマスルト、是ハ全ク違フノデアリマシテ、政府ノ既ニ重々御承知ノ通り、英國ノ樞密院ハ貴衆兩院議員、專門家、陸海軍ノ軍人、前內閣ノ閣僚ト云

フヤウナ者デ正ニ三百人ノ議員カラ成立ッテ居ル議會ニモ代ル所ノ大キナ會デアリマス、其議ヲ經ベシト云フコトニナッテ居ルノデアリマスルカラ、國王ノ授權法トハ申シナガラ、茲ニ廣汎ナル制限ヲ受ケテ居ルノデアリマス、ソレカラ亞米利加ニ於テハ有名ナル「オーヴァーマン」法ガ千九百十八年ノ五月ニ制定サレテ居リマス、是モ大統領ニ一切ノ權限ヲ與ヘテ居リマス、所ガ大統領ハ然ラバ無制限ニ其授權ヲ行使シ得ルカト言ヒマスルト、狹イ範圍ニ期限デ以テ切ラレテ居ル、本法ニ依ッテ附與セラレタル權限ハ、現在ノ戰爭遂行ニ關スル事項ニ付テノミ之ヲ行使シ得ル、洵ニ短イ期限ニ其廣汎ナル權限ヲ壓縮サレテ行ハレテ居ルノデアリマス、佛蘭西又然リ、然ルニ本法ノ如ク恒久性ヲ持チ、而モ時局ニ鑑ミテ吾々ノ最モ憂ヘテ居ル最中ニ、是ガ風呂敷ニ包ンダ儘立法化シナイデ勅令ノ儘ニ出スコトガ、適當デアアルカ不適當デアアルカト云フヤウナコトハ、憲法上ノ理論ノ問題デナク、是ハ明ニ政治問題デアアル、幾日此處デ議論ヲ申

上ゲテモ盡キル所デハアリマセス、一體政府ハ吾々ノ考ヘテ居ルコトヲ、立場ヲ變ヘテ一ツ考ヘテ貰ヒタイ、吾々ノ要求ハ無理デアラウカ、一ツ政府ノ方カラ吾々ノ考ヲ批判シテ貰ヒタイ、本會議ガアルサウデスカラ、茲デ一旦切りマシテ保留致シマスカ

〔答辯ハアトデ宜イ〕ト呼フ者アリ

○小川委員長 ソレデハ本會議ニ議事進行ニ關シテノ質問ガアルサウデアリマスカラ、ソレノ終ル迄暫時休憩致シマス

午後四時一分休憩

午後四時四十分開議

○小川委員長 休憩前ニ引續キマシテ會議ヲ開キマス——豊田君

○豊田委員 先程申述べマシタコトニ付キマシテ、政府ノ考ヲ聽カシテ戴キタイと思ヒマス、此點ダケガ本委員會ノ一番ノ「ポイント」デアリマシテ、ドウシテモ此點ヲハッキリ致シマセスト、將來ノ議事ニ關係致シマスカラ、何卒御明示アラシコトヲ希望致シマス

○近衛國務大臣 政府委員ヨリ御答致シマス

○青木政府委員 歐洲大戰等ニ於キマシ

テ、各國ガ何レモ廣汎ナル國權ノ行使ニ關スル權限ヲ政府ニ委任シタコトハ、御話ノ通りデアリマシテ、其際手續或ハ適用ノ時期其他ニ付テ、各異ル制度ヲ設ケマシタコトモ御話ノ如ク承知致シテ居リマス、併シ是ハ各國ノ行政機關、或ハ立法機關其他ノ組織ニモ依リマシ、又其國ノ政治運用ニ關スル從來ノ歴史モアリマシテ、必シモ一樣ニハ行カナイコト考ヘテ居ルノデアリマス

○豊田委員 只今私ノ申シタノハ、國民ノ了解ヲ得セシメル爲ニハ風呂敷ニ包ンデ居ッタノデハ、國民ノ了解ガ付カナイカラ、之ヲ法律ノ上ニ羅列式ニ、政府ノ欲スル所ノ要項ヲ十分ニ盛ツタ法律化サレタモノヲ御出シニナルコトガ、國民ニ了解ヲ與ヘル唯一ノ方法デアル、ソレニ對シテ外國デハ廣汎ナル權限ヲ、ソレノ機關ニ一任シテ居ルケレドモ、併シ其内容ヲ檢討スレバ何レモ國民ノ批判ヲ受ケ、國民ノ協力ヲ俟ッテ、ソレガ發動サレルヤウニナッテ居ル程、國民ノ意見ヲ尊重シテ居ル、ダカラ日本ノ現狀ニ於テハ、殊更ニ國民ノ協力ヲ俟ツヤウニ、國民ノ意見、批判ガ入ルヤウニ、サウ云フ組織ヲスルコトガ必要ダ、斯ウ云フ意味デ外國ノ法令ヲ入レタノデス、外國ニ

於テサヘモ既ニ然リ、日本ノ最近ノ空氣ニ鑑ミテ殊更ニ然リ、殊ニ戰時デアル、故ニ外國ノソレ等ノ例ヲ引例シタニ過ギナイノデアッテ、其點ヲ御間違ナイヤウニ、モウ一遍御明答願ヒタイ

○青木政府委員 我國ニ於キマシテハ、先般來政府當局ヨリ申上ゲマシタ如ク、其法律ト同ジヤウナ系統ニ屬スル法律ノ制定ノ仕方、是ハ軍需工業動員法、其他今マデノ實例ガ、殆ド間違ナク今回同ジヤウニ出來テ居ルノデアリマス、併ナガラ只今ノ御話ノ如キ趣旨モ含メマシテ、今回ハ軍需工業動員法ノ場合ニナカッタ國家總動員審議會ト云フモノヲ設ケマスノハ、大體趣旨ニ副フヤウナ目的ヲ持ッテ居ルモノト考ヘル次第デアリマス

○豊田委員 近衛總理大臣ニ御同致シマスカ、只今ノ御話デハマダ私ノ答ニ届イテ居リマセス、一言ニシテ言ヘバ總理大臣ハ法律化スルコトハ不可能ダト仰シヤルガ、依然トシテ不可能デアリマスカ、吾々ノ考ヲ以テ致シマスレバ、不可能デハナイ、現ニ「チエッコ・スロバキア」ノ國家防衛法ヲ渡サレテ居リマスケレドモ、可ナリニ明細ニ出テ居ル、併ナガラ是ハ敢テ珍シイコトデハアリマセス、日本ノ法令ヲ綜合致シマスルナ

ラバ、恐ラク是ヨリ以上ニナルガモ知レヌ、ソレヲ國家動員法ナルモノニ依ッテ、綜合單一法トシテヤッテ居ル位ナノデアッテ日本ダケガソレガ出來ナイ、勅令デナケレバ不可能ダト云フ理由ハ何處ニアルノデアリマスカ

○近衛國務大臣 先程不可能ト云フコトヲ申上ゲマシタガ、其意味ハ要スルニ豫測シ得ナイコトヲ規定スルコトハ不可能デアルト云フコトヲ申シタノデアリマシテ、戰爭ノ規模ノ大小、或ハ戰爭ノ形態、對手國ノ如何ト云フヤウナコトハ、是ハ平時カラ豫測シ得ナイノデアリマスカラ、其時々ノ實情ニ應ジテ迅速有效ナ處置ヲ、ソレノ「執ラナケレバナラヌ、ソレデ其時ノ豫測シ得ル最大限度ノモノハ、此法律ニ規定セラレテ居ルノデアリマス、其範圍内ニ於テドノ程度ニ發動スルカト云フコトハ、是ハ其時々ノ個々ノ場合ニ應ジマシテ決メナケレバナリマセヌガ故ニ、豫メ法律ヲ以テ茲ニ具體的ニ決メルコトハムヅカシイ、斯ウ存ジテ居リマス

○豊田委員 洵ニ走馬燈ノ如ク同ジ所ヲ繰返シテ居ルヤウデアリマスカ、豫測シ得ナイコトヲ規定スルコトノ不可能ナハ勿論デアリマス、本法ニ書イデアリマスル要項ニ付キマシテハ、之ヲ具體化スレバ、多ク

ハ豫測シ得ルコトデアリマス、ソレハ一ツノ法律化セズシテ、徹頭徹尾勅令ニ依ルト云フ所ガ、吾々ノ不安ノ據シテ起ル根本ナノデアリマス、故ニ豫測シ得ル限リノ最大限度ニ互ッテ、此「チエッコスロバキヤ」ノ如キ羅列式ニ具體的ニ法令ヲ竝ベテ、國民ヲシテ一見明瞭ニ諒解スルコトノ出來ルヤウニスルコトガ、戰時對策上學國一致ノ實ヲ示ス上ニ於テ必要デアル、即チ申スマデモナク國家ノ生命ハ永遠デアル、何時マデ經ッテモ續クベキモノデアル、併シ内閣ノ生命ニハ限リガアル、是マデ幾度モ論議サレタコトデアリマスガ、其限リアル生命ニ基イテ、限リナキ永遠性ニ向ッテ推斷ヲシテ行クノデアルカラ、ソコニ確乎不動ノ明記サレタ條章ガ無クテ、國民ハ何ニ準據シテ行クコトガ出來ルカ、ソコニ吾々ノ不安ガアル、故ニ勅令ニ讓ラズシテ、最大限度法律化スベシト云フ吾々ノ心中ハ、果シテ是ハ無理デアラウカ、是ハ立場ヲ代ヘテ一ツ政府側カラ、之ヲ批判シテ貫ヒタイ

○鹽野國務大臣 勅令ニ讓リマシタル部分ハ、各本條ニ書イテアリマス最大限度ノ義務ヲ、其戰爭ノ事態ニ應ジテ、最モ適切ニ運用シテ行クト云フガ爲デアリマシテ、勅令ノ内容ハ、其事態ノ變化ニ應ズルコトヲ必要ト

スルノデアリマス、今カラ之ヲ豫測シテ書クコトハ困難デアリマス、而シテ其規定スルコトガ何デアルカ豫測シ得ザルガ爲ニ、國民ニ不安ヲ與ヘルト云フ御話デアリマシタルガ、此規定スル所ハ何等各本條ニ規定スル以上ニ出デナイノデアリマシテ、最大限度ニ勅令ヲ規定致シマシタ所デ、各本條ニ書イテアリマスル意義以上ニハ出ナイノデアリマス、ソレハ特ニ勅令ニ依リト書キマシタノハ、國民ニ對シテ負擔サセタ義務ヲ、最モ有效ニ無駄ナク使フ爲ニ、其制度方法等ヲ起ルベキ事態ニ即應シテ行クガ爲ニ、勅令ニ讓ッタノデアリマス、只今カラソレヲ想定シテ置クコトモ勿論必要デアリマシタルガ、之ヲ法文ニ書キ置キマスルコトハ、或ハ其事態ニ對シマシテハ、寧ロ妨害トナル場合モナイトモ言ヘナイノデアリマス

〔委員長退席、西岡委員長代理著席〕又全部ヲ書キ得ナイ状態ニ於テ、ホンノ二三ノ點ヲ書クト云フコトニナリマスルト、ヤハリ其時ニナッテ之ヲ増加變更致ス必要ガ當然起ッテ來ルノデアリマス、而モ其必要ハ目睫ニ迫ル場合ガアリマシテ、臨時議會ヲ召集シテヤル間モナイコトデアリマス、尤モソレニ對シテハ緊急勅令アリト云フ御意見モアルデアリマセウガ、既ニ本法ニ於

キマシテ、人民ニ課スベキ義務ヲ定メテ置キマシタ以上ハ、其以上ニ出デザル勅令ハ、ヤハリ事態ニ即應シテ危急ニ備ヘル爲ニ勅令ニ讓ッテ置ク方ガ、極メテ適切ダト考ヘテ居ル次第デアリマス

○豐田委員 ドウモ何時マデ經ッテモ同じ所ヲ往復シテ居ルヤウデアリマス、政府ハ徹頭徹尾勅令ニ依ラザレバ不可能、斯ウ云フ風ニ受取リマス、ソレナラバ其論法ヲ以テスルナラバ、現ニ政府ガ唱ヘラレテ居リマスルヤウニ、準備ニ缺クル所アリ、故ニ此國家總動員法ヲ提出シタト云フコトヲ屢述ベラレテ居ルノデアリマスガ、然ラバ現行法律ニ依ッテハ、此度ノ國家總動員法ニ盛ラレタル内容ノ準備ハ出來テ居ナイノデアルカ、屢ニハ論議サレマシタケレドモ、明答ガナカッタノデアアル、此中ニ盛ラレタル事項ニ對シテ、準備ハ果シテナカッタノデアアルカ、隨分私モソツコツチ讀ンデ見マシタシ、又政府カラ此比較對照表モ貰ヒマシタケレドモ、對照表以外ニ澤山ノ現象ニ對シテ對處スベキ法令ガ山ノ如ク出來テ居ル、アレダケノ法令ガ出來テ居ッテ、準備ガ不可能ト云フノハ、ソレハ法律ノ罪デナクテ、何カ少シ原因ガアル、例ヘバ法律ヲ一々讀上ゲルコトハ好ミマセヌケレドモ、政府ガ

サウ云フ御話デアレバ、少シク時間ヲ拜借致シマシテ、例ヲ舉ゲテ見マス、微發ニ關スル事ガ微發令ニ可ナリニ詳シク出テ居ルコトハ御承知ノ通り、人的、物的トヤッデアリマスガ、其人的ニ付テモ、人夫ト云フ名前デ以テ微發令ノ中ニ入ッテ居ル、是ハ少シ狭イ範圍カモ知レヌケレドモ、兎モ角入ッテ居ル、ソレカラ整備ニ付テハ、軍機保護法、可ナリニ峻嚴ナ法律デアリマス、軍機保護法ノ内容ハ今更申ス迄モアリマセヌケレドモ、之ヲ嚴肅ニ適用サレルナラバ、觸レレバ斬レル、實ニ是ダケノ嚴肅ナル所ノ整備ニ關スル法律ガアッテモ、尙且ツ總動員法ニ依ルスウ云フモノヲ出サナケレバ、不可能デアルトハ思ヘナイノデアアル、例ヘバ其中ニ盛ラレテ居ル事項ヲ見マスルト、國防作戦及ビ用兵ニ關スル事項モ入ッテ居ル、編制裝備又ハ動員ニ關スル事項、國土防衛ニ關スル事項、諜報、防諜又ハ調査ニ關スル事項、運輸通信ニ關スル事項、教育訓練又ハ演習ニ關スル事項、資材ニ關スル事項、圖書其他ニ關スル事項、是等ヲ細別ニ見マ

スルト云フト、殆ド整備ニ付テハ缺クル所ガナイ、海軍關係ニ於テモ亦同様、其外ニ更ニ調ベテ見マスルト、防禦海面令、要塞地帶法、軍港要港規則、宇品港域軍事取締

法、軍用電氣通信法、船舶法、航空法、七
十議會ニ通過シタ防空法、殆ど警備ニ付テハ
間然スル所ハアリマセヌ、物的調査ハ資源
調査法ニアル、其資源調査法ヲ基本トシテ
幾多ノ法令規則ガ殆ド二十五ニ互ッテ出テ
居ル、資源調査令、海事資源調査規則、陸
軍軍需品生産能力調査、海軍モ同様、國家
重要研究事項、國家總動員準備ニ關スル件
工場調査規則、鑛業調査規則、港灣資源調
査規則、地方鐵道及ビ軌道資源調査規則、
其他十五、合セテ二十五ノ法令規則ガ出來
テ居ル、是デ資源調査ガ出來ナイト云フヤ
ウナコトハナイ筈デアル、更ニ産業ノ統制、
事業ノ統制ニ付テモ、重要産業統制法、
重要肥料業統制法、製鐵事業法、石油業法、
自動車製造事業法、航路統制法、臨時船舶
管理法、航空法、電氣事業法、臨時資金調
整法、臨時肥料配給法、船舶管理法、輸出
入品ニ關スル臨時措置法、米穀應急措置ニ
關スル法律、外國爲替管理法中ノ改正、資
金調整法、一寸見タダケデモ此通りデアル、
人的、物的調査、而シテ警備諜報ニ關スル
法令、恐ラク是等ノ法令ヲ活用致シマスル
ナラバ、政府ハ大體ニ於テ準備ニ關シテハ
出來テ居ナケレバナラス、ソレガ出來テ居
ナイト云フナラバ、是ハ何カ外ニ原因ガア

ルノデハナイカ、是マデ行政機構ノ改革ヲ
稱ヘラレ、官吏制度ノ改革ヲ稱ヘラレテ居
リマスケレドモ、恐ラク其方面トモ關聯ヲ
持ッテ行クノデナケレバ、是ハ考ヘラレナイ、
果シテ政府ハ國家總動員法ナシニハ、準備
ガ不可能ダト仰シヤルノデアアルカ、又準備
ガナイト言ハレルノカ伺ヒタイ
○鹽野國務大臣 只今御讀ミ上ゲニナリマ
シタ法令ノ澤山アルコトハ、承知シテ居ル
ノデアリマス、元來此國家總動員法ハ、人
的竝ニ物的資源ヲ積極的ニ働カセル法案デ
アリマシテ、警備或ハ調査ノ如キ消極的ノ
方面ハ、皆現行ノ法律ニ讓ッテアルノデアリ
マス、但シ現行ノ法律ノ中ニ、軍需工業動
員法或ハ臨時ノ統制法ガアリマス、ソレ等
ノモノノ未ダ完カラザルヲ本法ニ依ッテ擴
充致シマシテ、其間ノ連絡統制ヲ保チ、區々
ニナルコトヲ統一シテ行キタイト云フノ
ガ、本法ノ趣意デアリマス、成程積極的ニ
種々ナル統制モヤッテ居リマスガ、是ハ現今
ノ經濟狀態ニ於ケル民需ノ助成ヲ圖ル意味
デゴザイマス、勿論一面ニハ軍需ニモ關係
致シマスルケレドモ、現行ノ法律ヲ以テシ
テハ、未ダ國家總動員ノ準備ニハ足ラナイ
モノト考ヘテ居ル次第デアリマス
○豐田委員 ソレナラバ吾々ノ要求ノ法律

化セヨト云フ所ニ、政府ガ同意ヲ表セラレ
タノデアアル、澤山アル現行法ノ間隙ニ對シ
テ、總動員上不便デアルト云フナラバ、ソ
レヲ補正スレバ以テ吾々ノ考ガ實現サレル、
補正セズニ特ニ勅令デナケレバイカスト云
フ所ニ、政府ノ主張ト吾々ノ主張トノ溝ガ
アル、又屢、瀧總裁ハ綜合統一ノ必要カラシ
テ、本案ガ制定サレタノダト云フコトヲ申
サレテ居ル、今ハ御答ナカッタケレドモ、從
來サウ云フ御説明ガアツタ、綜合統一ト云フ
意味ナラバ是ハ又別個ニ考ヘラレマス、ケ
レドモ、綜合統一ト云フノデアレバ、之ニ
吸收セラレテ居ル從來ノ現行法ト云フモノ
ハ、全部廢止シテ然ルベキモノダ、所ガ御提
案ニナツタ案ヲ讀ンデ見マスルト、別ニ其意
思モナササウダ、軍需工業動員法ト、大正十
二年ニ發布サレタ法律第八十八號ダケヲ廢
止スルト書イテアル、其他ノ法ニ付テハ何
等一言モ言及サレテ居ナイ、依然トシテ活
カシテ置ク積リデアル、ソコニ法律徒ニ山ノ
如クシテ、事實之ニ伴ッテ居ナイト云フ何ヨリノ
證據ガアルノデアアル、現ニ一例ヲ取ッテ見ル
ト、輸出入ニ關スルコトハドウナツテ居ル、
輸出入ニ關シテハ通商擁護法デ審議會ニ掛
ケサヘスレバ、輸出入ノ制限禁止ガ出來ル
ヤウニナツテ居ル、ソレデ足ラナイト云ツテ、

今度ハ臨時措置ニ關スル法律ヲ作ッテ、通商
擁護法ノ上ニ二階ヲ建テタ、又今度總動員
法ヲ持ッテ來テ三階ヲ築イテ居ル、同ジ事項
ニ對シテ二階、三階ヲ建テ、行カナケレバ
ナラスト云フノハ、前ニ齋藤委員ガ申サレ
マシタ本法ハ、單一法ニアラズシテ、複雑法
デアルトノ批評ハ、蓋シ至言デアルト思フ、
本法ガ成立シタ場合ニハ、過去ノ一切ノ此
法ニ吸收サレテ居ル法律ヲ、何故廢止スル
ト明記サレナイカ、此點ヲ伺ヒタイ
○瀧政府委員 洵ニ御尤ナ點ニ觸レタ御質
問ダト思ヒマス、現行法デハ不備ノ點ガア
ル、斯ウ申シマスノハ、二ツノ點ニ付テ不備
ガアルノデアリマス、第一ハ軍需工業動員
法デアリマスガ、是ハ軍需ニ付テ動員サレ
ルダケデアリマシテ、民需ニ付テハ動員ノ手
續ガアリマセヌ、其點ガ不備デアリマス、第
二ニ臨時ノ諸立法ガ色々アルノニ、何故國家
總動員法案ガ必要デアアルカ、斯ウ云フ御話デ
アリマスガ、此臨時諸立法ハ臨時ノモノデ、
支那事變ニ對シテノミ行フモノデアリマシ
テ、支那事變終了ト共ニ終了スルモノデア
リマス、然ルニ國家總動員法ハ是ハ恆久法
デアリマシテ、ドウシテモ臨時ノモノダケ
デハイケマセヌ、茲ニ不備ガアリマス、然
ラバ全部ガ吸收サレテ居ルカト申シマスル

ト、實ハ吸收サレテ居リマス、吸收サレテ居ルナラバ現在ノ法律ト今度ノ法案トノ間ノ關係ハ如何カ、斯ウ云フ御質問デアリマスガ、軍需工業動員法及ビ第八十八號ハ吸收サレテ居リマスカラ此法律成立ト共ニ廢止ヲ致シマス、臨時諸立法ハ如何デアラウカ、是ハ折角支那事變ニ對シテ御協賛ヲ願フタバカリデアリ、今現ニ滯リナクソレガ運用サレテ居ルノデアリマスルカラ、吸收サレテ居ル同ジ條文ガ國家總動員法ノ中ニアルコトハアリマスルケレドモ、當分其方面ノ國家總動員法ノ條章ハ之ヲ睡眠狀態ニ置キマシテ、臨時諸立法ノ處置ニ依ッテ、之ヲ處理シテ行クト云フ考デアリマス

○豐田委員 ドウ云フ譯デソレヲ兩立サセネバナラヌノデスカ

○青木政府委員 只今ノ御尋ハ、昨年臨時議會ニ於テ御制定ニナリマシタ立法ニ付テノ御尋ト思ヒマスガ、是ハ昨年法律制定以來施行令モ出テ居リマスシ、又ソレニ關スル行政諸機關モ出來テ居リマスシ、又是ノ施行ニ付テハ、國民一般モ相當價レテ居リマスルカラ、強イテ此際之ヲ全部撤廢シテシマッテ、此法律ニ依ッテヤリ直スコトハ適當デナイト云フ考ヨリ出テ居ルノデアリマス

ソレカラ今總裁カラ軍需工業動員法、昨年ノ臨時立法ニ付テノ御説明ガアリマシタガ、尙ホ豐田サンノ御尋ノ中デ、ソレ以外ノ從來ノ我國ノ諸立法トノ關係ニ付テ御質問ガアッタノデアリマスガ、例ヘバ先程御引例ニナリマシタ通商擁護法トノ關係ヲ申シマスレバ、通商擁護法ハ御承知ノ通り外國ノ取り又ハ取ラントスル方策ニ對抗シテ、我國ガ發動スル場合ノ國權ノ作用ヲ規定シタノデ、法律ノ目的ガ既ニ違ッテ居リマス、隨テアノ法律ヲ改正スルト云フコトデハ、此國家總動員法上ノ目的ニ適シナイ、又此總動員上ノ目的ノ通商上ノ對策ガ出來タト致シマシテモ、他ニヤハリ外國ノ取り又ハ取ラントスル場合ノ通商上ノ對策モ亦必要デアリマスカラ、廢止スル譯ニ行カナイノデアリマス、更ニ此法律ガ出マシテモ、從來ノ立法、中間ニ合フモノハ、ソレヲ使ッテ行クト云フ方針ヲ大體執ッテ居ルノデアリマシテ、外國爲替管理法ノ如キハ、御話ノ通り是ハ今回ハ觸レテ居リマセヌ、是ハ平時立法、戰時立法ヲ通ジテアノ法規ノ運用デ目的ヲ達スルト云フ見地カラ出ルノデアリマス、徵發令トノ關係モ御話ガアリマシタガ、是ハ成程徵發令ニ依ッテ目的ヲ達シ得ル部分モアリマスガ、併ナガラ例ヘバ其徵發ノ目

的、範圍ニ付テ不足ノ場合モアリ、或ハ徵發ノ權限ガ、只今ノ徵發令デハ陸海軍關係ニ限ラレテ居ルト云フ點ニ於テ足りナイ點ガアル、其他色々事情カラ不足ガアッテ今回ノ立法トナッタノデアリマスガ、併ナガラ徵發令自體ニ、國家總動員ノ目的以外ニモ發動スル必要ガアリマスカラ、之ヲ廢止スル譯ニモ行カナイノデアリマス、其他資源調査法、軍機法其他ノ御話ガアリマシタガ、大體同ジヤウナ理由デ其法律ノ改正ニ依ル譯ニ行カナイ、又此法律ガ出來テモ、從來ノ立法ヲ廢スル譯ニ行カナイト云フ事情ヲ、御諒承ヲ願ヒタイト思ヒマス

○豐田委員 支那事變ニ關スル臨時立法ハ、折角通過シタバカリデ、其施行規則ガ出來テ居ルニ拘ラズ、今之ヲ廢止スル譯ニ行カヌカラト、斯ウ云フ風ニ受取ッタノデアリマスガ、吾々ノ方カラ見レバ、支那事變ニ關スル臨時立法ノ精神ハ、支那事變ト限ッテ所ニ、吾々ノ滿腔ノ意ガ入ッテ居ル、將來之ヲ惡用セラル、ノ憂ナキヲ保證スル意味ニ於テ、支那事變ト明ニ期限ヲ付シタノデアリマス、其精神ヲ無視シテ、此度ノ總動員法ヲ恆久法ニスルカラソコニ無理ガアル、其點ハ如何デスカ、其點モ吾々ノ意中ヲ考ヘテ貰ハナケレバナリマセヌ、ナンボ申シテ

モ同ジコトデアリマスガ、足ラヌ所ハ補整スレバ以テ足ル、ソレガドウモ綜合單一法デナケレバイカスト云フノデアルナラバ、補整シテ以テ法律化シテ何ノ不便ガアリマセウ、一カラ十マデ皆勅令ニ俟タナケレバ、一切ノ社會現象ニ對處ハ出來ヌト云フナラバ、人間程愚カナモノハナイ、法律ハ斯ウ云フコトガアッタラバドウスルト云フ將來ノ見透ヲ、凡ソ摘シデ書イタノガ法律デナケレバナラヌ、一切合財悉ク將來來ルベキ現象ニ對シテハ書クコトガ出來ナイ、不可能デアル、ダカラ勅令デ行ク、ソコニ無理ガアル、私共ハドウシテモ此點ハ政府ニ十分御考ヘ戴キマセヌト、本委員會ニ付テハ、惡イ言葉カ知レマセヌガ、私ハ殘念ナガラ樂觀シ得ナイト思ヒマス、殊ニ本法ノ第二十一條カラ三十一條ノ如キハ、明ニ是ハ準備法デアル、千變萬化スル性質ヲ大體持タヌ、率先シテ斯ウ云フモノハ法律化シテ、分離スベキ性質ノモノデアル、尙且政府ハ徹頭徹尾ソレ等ノ準備ニ要スル法規マデモ、何トシテモ勅令ニアラザレバ爲シ得ズト、斯ウ云フ御見解ヲ御持チデスカ、或ハ吾々ノ意中ヲ汲ンデ、法律化スルダケノ、一ツ輿論ニ聽從スル御意見ハナイカ、ソレヲ伺ヒマス

○鹽野國務大臣 二十一條以下ノ平時ニ於ケル準備ニ付キマシテハ、御説モ一應御尤デアリマス、併ナガラ此平時ノ準備ハ勿論必要デアリマスルガ、其準備ハ進ンデハ戰時ニマデ其儘入ッテ參リマシテ、戰時ニ於キマシテモ非常ナ準備ガ必要デアリマス、其意味合ヲ以チマシテ、又其規定ハヤハリ人民ニ對スル束縛ト云フモノハ、最大限度ニ於テ各法條ニ書イテアルノデアリマスカラ、從來ノ例ニ倣ッテ之ヲ勅令ニ讓ルノガ當然ト考ヘテ居リマス

○豐田委員 サウ云フ御考ガアッテ根本的ニ吾々ノ意見ト、ドウシテモ協調ガ出來ナイ、私ハ斯ウ云フコトガアラウト思フカラ、劈頭ニ一二ノ外國ノ例ヲ申上ゲタノデス、外國デハ「フアッショ」國ハ別デスケレドモ、凡ソ立憲國ノ態度ト云フモノハ、假令ソレガ或ル一點ニ廣汎ナ權限ガ委任サレテモ、ソレヲ獨裁シテハ居ナイノデス、委任サレタモノヲ再分配シテ居ル、英國デハ三百人カラ成ッテ居ル樞密院ノ議ニ付セナケレバ、廣汎ナル委任權ノ執行ハ出來ナイコトニナツテ居ル、亞米利加ハ大統領ニ向ッテ廣汎ナル委任權ヲ與ヘテハアルケレドモ、是亦チャント日本ノ臨時立法ノヤウニ期限ヲハッキリト書イテ、此期間ダケハ大統領ノ特權デ

アルゾト制限シテ居ル所ニ國民ノ希望ヲ容レタ、所謂永遠ニ互ル國家ノ命ニ對シテ、國民ガ安心シテ其國家ニ生存スルコトガ出來ルヤウニシテアルノガ立法例デアリマスカ、現政府ニ於テハドウシテモ徹頭徹尾、一カラ五十迄全部勅令ニ仰ガナケレバナラヌト云フ所ニ、私共ノ何トシテモ諒解ノ出來ナイ政府ノ心構ガアル、之ヲ不思議ニ考ヘルノデアリマス、同ジコトヲ何遍繰返シテモ結局仕方ガアリマセスカラ、是ハ此程度ニ致シテ置キマス、併ナガラ此論點コソハ、本案ヲ左右スル一番ノ「ポイント」デアリマスカラ、此點ハ一ツ篤ト御考慮ヲ煩シタイ

第二ニ大體ニ是マデノ委員諸君ノ質疑ニ依リマシテ、荒筋ハ一渡リ分ッタイウナ氣モ致シマスノデ、此度政府ヨリ配付サレマシタ實施要綱ノ内容ノ不明ナ點ニ付テ、數點ノ質疑ヲ致シタイト思ヒマス、第四條關係ノ第二ノ所ニ「被徵用者ノ範圍ハ年齡ニ依リ之ヲ限定スルト共ニ徵用ヲ免除シ得ル場合ヲ定ムルコト」ト書イテアル、此徵用ノ範圍ハ年齡ニ依ルト云フガ、此年齡ト云フノハ何歳カラ何歳位ヲ政府ハ考ニ入レテ居ラレカ、又免除ト云フ方ニハドウ云フ者ヲ免除スル御意向デアルカ、先般櫻井委員モ申サレタ

ヤウデアリマスガ、ドウモ御返答ガ能ク分ラナイノデ改メテ之ヲ御伺致シタイノデアリマス、ソレニ先ダッテ「チエッコスロバキヤ」ノ免除ニ關スルコトヲ書イテアリマスカラ、之ニ對スル政府ノ考ヘ方ヲ一ツ伺ッテ置キタイ、「チエッコスロバキヤ」ノ人的給付ニ對スル免除ノ具體的ナ明示ガアリマス、約八項ニ互ッテ居ル、第一ニハ肉體的又ハ精神的ニ無能力ナル者、是ハ免除スル、十七歳未満又ハ六十歳ヲ超ユル者、又國會及政府ノ各成員並ニ「チエッコスロバキヤ」國民銀行ノ總裁、國務及其他ノ公務ニ現ニ從事スル者、未成年ノ子ヲ養育シ、妊娠シ又ハ分娩後三月ヲ經過セザル女子、其他ヲ合セテ八項デアアル、政府ノ免除スル範圍ニ付テノ考ヘ方ハ、「チエッコスロバキヤ」ノ此趣旨ニ大體近イモノデアルカ、具體的ニ御示シヲ願ヒタイ

○青木政府委員 「チエッコスロバキヤ」ノ法律ニ、只今御述ニナリマシタ如キ免除規定ノアルコトハ承知致シテ居リマス、併ナガラ政府ハ其例ヲ以テ、必シモ妥當ト考ヘテ居ラナイ次第デアリマス、如何ナル範圍デ徵用ノ規定ヲ適用スルカ、又免除ヲ如何ナル程度ニ致スカト云フコトハ、其時ノ情勢、國家ノ必要ニ應ジテ定マルモノデアリ

マシテ、只今御話ノ如ク年齡ノ點ニ付テ御尋ガアリマシタガ、是ハ何歳カラ何歳マデニ適用スルカト云フコトハ、其時ノ必要ニ依リマシテ、成ベク最少限度ニ規定シテ行キタイ、若シ先般來御話ノアリマシタ如ク、初メカラ法律デヤルト致シマスレバ、モウ一番事態ノ最モ極端ニ必要ヲ感ズル場合、年齡ニ付キマシテモ最モ低イ所カラ、最モ老年ニマデ書イテ置カナケレバ、法律トシテハ不完全ト云フコトニナルノデアリマシテ、サウ云フコトデナク、其時ノ必要ノ程度ニ依ッテ、年齡ノ制限モ致シテ行キタイト云フノガ、勅令ニ依ッテ其年齡モ定メ付キマシテハ、一般的ノ方針ト致シマシテ、是ハ「チエッコスロバキヤ」ノ例ニモアルヤウデゴザイマスガ、身體又ハ精神上ノ能力ノ缺陷ニ依ッテ、役ニ立タナイト云フヤウナ人ハ、是ハ同様ニ規定シタイト考ヘテ居リマスガ、其他ニ付キマシテハ、其時々ノ事情ニ依ッテ、適當ナル定メヲ致シテ行クヨリ外ナイト考ヘテ居リマス

○豐田委員 殆ド徹頭徹尾要領ヲ得マセヌ、斯ウ云フ簡單ナ事實サヘモ御言明シ得ナイト云フコトハ、如何ニモ政府ノ爲ニ殘念デアアル、ドウシテサウ云フ風ニ我等國民ヲ

信用が出来ナイノカ逆ニアナタ方ニ伺ヒマス、大體ニ於テ人生ニ變化ノアルコトハ當然デアレドモ、基本ト云フモノハ必ズナケレバナラス、其基本サヘモ示シ得ナイ、ドウ云フ譯デ國民ヲ左様ニ信用出来ナイノカ、モウ一遍伺ヒマス

○鹽野國務大臣 只今問題ニナリマシタ年齢ニ依ル制限ハ、其時ノ情勢ニ應ジマシテ決メルノガ適當ト考ヘテ居ルノデアリマス、免除規定ニ對シマシテハ不具癡疾、又ハ常識的ニ免除セラルベキ者モ多クアラウト考ヘラレルノデアリマスガ、斯様ナコトハ法律ニ決メテナクテモ、普通ノ常識ニ於テ國民ハ承知スルコトト考ヘテ居ルノデアリマス

○豐田委員 ドウモ斯ウ云フコトデハ先ガ案ゼラレテナラスノデアリマス、先般此委員會ニ於テモ、此點ニ付テ多大ナ憂ヲ持チマシテ、獨逸ノ「ナチス」政府出来テ以來ノ授憲法ヲ引例サレテ、動モスルト其轍ヲ履ムニアラズヤトノ質問ガアツケレドモ、今ノ御答ヲ以テ見ルト、如何ニモ吾々ハ其點ヲ左様ニ思ハレタトテ已ムヲ得マイト思フ、簡單ノヤウデアレドモ、此事實ハ重大デアリマス、「フアッショ」化スルカ、シナイカノ時ニ至ッデ、此ノ一項コソハ「フアッ

ショ」化スル時ノ一番ノ武器デアリマス、私共ハ之ヲ今ノヤウナ漠然トシタコトデ之ヲ過ギ去リ得ルトハ考ヘマセヌ、同ジコトヲ何遍申シテモ致シ方アリマセヌカラ、次ニ移ッテ御伺致シマス

第四條關係ノ第七項「特殊技能者ノ徵用ニ付テハ必要ニ應ジ特別ノ規定ヲ設クルコト」ハ如何ナル方法ヲ以テ徵用ヲサレルノデアルカ、被徵用者ノ其勞働力ヲ有效ニ利用スル爲ニハ、常ニ其職業能力ヲ調査シテ置ク、是ハ勿論必要ナコトデアル、此點ニ關シマシテ何處カ他ノ國デモヤッテ居ルカト思ッテ見タノデアリマスガ、丁度千九百十七年ノ三月、英國ニ於テハ「ミニストリー・オブ・ナショナル・サービス」——國民徵用省ト云フモノヲ作ッテ之ヲヤッタコトガ分ッ

タノデアリマス、廣汎ナル組織ニ依リマシテ、數週間内ニ數十万人ノ者ヲ徵用シタ、併ナガラ是モ出鱈目ニ唯能力モ職業モ一切ノ準備調査ガナクシテヤッタラシイノデアリマシテ、結局ハ失敗ニ終ッテ歴史ヲ持ッテ居ル、斯ウ云フ實例カラ見マスルト、此第四條ノ第七項ヲ發動サル、場合ニ於テハ、政府ハ相當ノ準備ガナクテヤルト云フコトニナルト、其結果ハ知ルベキノミデアル、凡ソ政府ハドウ云フ見當ヲ付ケテ、此第七

項ノ徵用ヲナサル積リデアルカ、之ヲ伺ヒタイ

○青木政府委員 特殊技能者ニ付キマシテハ、例ヘバ醫師、藥劑師其他ノ者モ其例デアリマスガ、斯ウ云フ特殊技能者ハ一般ノ勞務關係ノ人ヨリモ違ッタ條件ニ依ッテ、徵用ヲ必要トスル場合ガアリ得ルノデアリマシテ、ソレガ爲ニハ御話ノ如ク平時カラ登録制度其他ノ運用ニ依ッテ、特ニ十分ノ調査ヲ致シテ置キタイ、斯ウ考ヘテ居ル次第デアリマス

○豐田委員 御承知ノ通り特殊技能者ニ付キマシテハ、特ニ我國ニ取ッテ、戰時事情ノ下ニアリマスル際ニハ研究ガ必要デアリマス、現在ノ内務省ノ統計ヲ見マスルト、産業部門ニ吸收サレテ行ク一箇年ノ必要ナル熟練工ノ數ガ約二十万人、大凡ソノ見積リデ年々百万人ノ人口増加ノ中デ、十八%ガ産業部門ニ補充サレテ行クト云フノデアリマス、二十万人ノ必要ニ對シテ十八万ヲ補充スルノデアリマスカラ、年々二万人ヅ、ノ勞働不足ヲ來シテ居ル結果ニナル、是ハ尤モ職工五人以上ノ工場法ヲ適用サレテ居ルモノニ付テノ計算デアリマスガ、工場法ヲ適用サレナイ方面ヲ考慮ニ入レマスルト、大凡ソ年々五万人位ノ不足デアルト云フコ

トヲ統計上考ヘラレマス、要スルニ熟練工ヲ國內ニ十分ニ持ツカ、持タヌカト云フコトハ、今日ノ近代戰ノ特質カラ行キマスルト、戰地ニ送ル兵員ト、之ヲ補給スルダケノ銃後ノ此熟練工ガ十分ニナケレバ、戰爭目的ノ達成ガ出来ナイト云フコトハ明瞭デアル、歐洲大戰當時ニ於ケル獨逸ノ如キハ、現ニ出征シテ居ル熟練工ヲ、ドン／＼引戻シテ、工場デ之ヲ使用セザルベカラザルノ状態ニ在ッタト云フコトハ、是ハ餘リニモ有名ナコトデアル、政府ハ此點ニ思フ致サレテ、第七項ヲ入レラレテ、之ヲ適當ノ機會ニ勅令トシテ發動セラレルヤウデアリマスガ、何カ之ニ付テ必要ナ特別ノ規定デモ設ケテ、特ニ之ヲ完全ニヤラウトスルノデアルカ、ソレトモ何處ノ者デ片手間ニヤレルト考ヘルカ、事ハ餘リニ大キナ仕事デアリマスガ、何カ政府ニ考ガアルカドウカ伺ヒタイ

○植村政府委員 一寸只今ノ點ニ付テ御答ヲ申上ゲマス、御質問ハ熟練工ノ問題デアルヤウニ拜承致シマシタ、其點ニ付キマシテハ、現下ノ最重要ナル問題ト考ヘテ居リマスガ、大體商工省及厚生省ノ關係ニ於テ對策ヲ練リマシテ、企畫院トシマシテソレヲ調整、綜合致シマシテ、段々ヤッテ行

ク積リデ居ルノデアリマス

○西岡委員長代理 豊田君ノ御質問ハ明日

繼續スルコトト致シマシテ、今日ハ是ニテ

散會致シマス、明日ハ午前十時カラ開會致

シマス

午後五時三十五分散會

衆議院國家總動員法案委員會會議錄
第三回中正誤

頁	段	行	誤	正
三	三	一三	何何ニモ	如何ニモ
一〇	三	八	私ノ	私ハ
同	同	同	委員長ヲ	委員長ニ
同	同	七	國務院	國務院
一四	四	一〇	概要テ	概要デ

昭和十三年三月四日印刷

昭和十三年三月五日發行

衆議院事務局

印刷者 内閣印刷局